男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6－133

廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十年四月十日印刷）
（大正十年四月十日發行）
（毎月一回十日發行）

第十一卷第四號

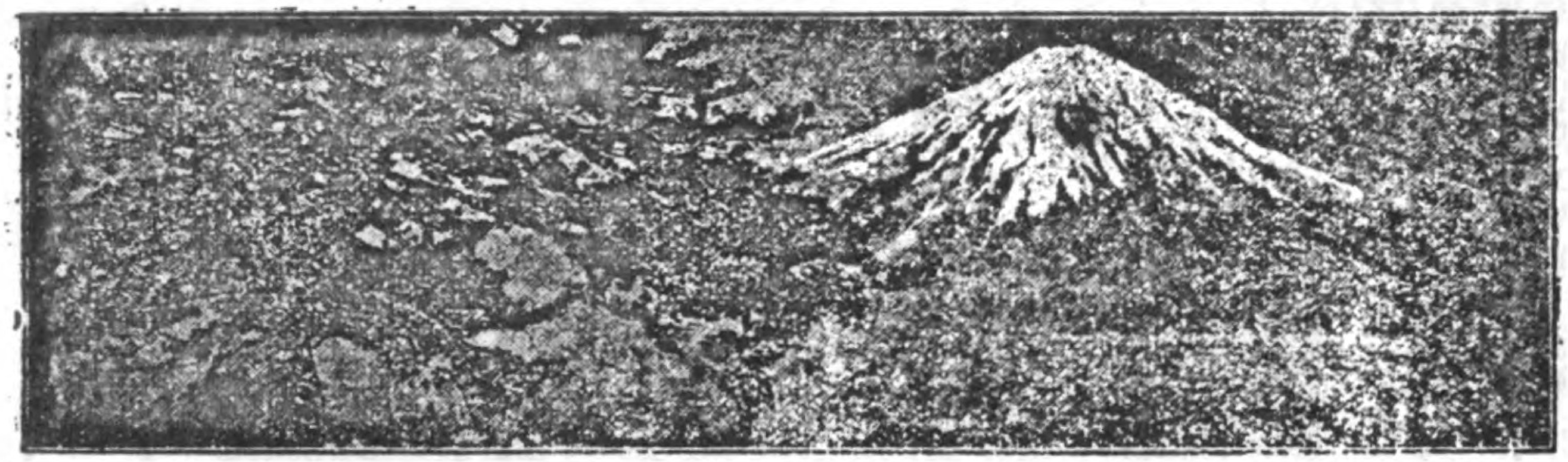
＝（本誌の言論）＝眞摯にして尤も雄健　腐敗社會の清涼劑なり

□唯一の安全辯……足羽清美
□闇中に燦く曙光……廓清會長　島田三郎
□今議會が取扱つた婦人問題……廓清會評議員　成女高女校長　宮田脩
□第四十四議會と文教……高島平三郎
□恐るべき花柳病毒……醫學士　高柳榮
□道德上より觀たる一夫多妻の批判……一條忠衛
□數字に顯れた墮落社會……足羽清美
□勞働運動と人生問題……辯護士　布施辰治
□家庭に於ける女子の改造……水津千雲
□謎の吉原日記（二）……前吉原病院看護婦　田口和子
□憐れな姉妹の爲めに……植村龍世
□編輯の後……圭英生

＝（本誌の使命）＝凡百る矛盾を裁斷し墮落社會の眞の革正

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



唯一の安全辯

我が國に憲政布かれてより年を閲みすると茲に三十三、議會の回を重ぬること既に四十四、地方の自治政亦面目を新たにして大いに改まり、國民は種々なる試練を經て政治的に餘程訓練せられて來た。また教育は明治維新以後愈々興進し、洽ねく普及せられ人智は益々開發せられて到底昔日の比ではない。隨つて政治の機關の如きも、最早や一部特權階級に占有せしめ、彼等の横暴專恣に依つて爲さるゝ隱密政治に委せて置くべき時代は去つたのである。卽ち民衆に齊しく選擧權を與へ親しく國政に參與せしむべく刻下の趨勢は馴致されて居るのであつて、最早や斯くの如き問題は論議の餘地なきまでに明白な事であつて、納税資格を標準として選擧權を限定するが如きは何等理由なきこととてある。然るに原敬氏の如きは、從來普選論者を目するに頗る危險視し來つたのであつて、其の固陋頑冥なるは唯だ嗤ふべきのみであるが吾人は今や原氏等同論者の蒙を啓くべき機會を得たのであるそれは山口縣玖珂郡南河内村に於て高木タケ子と云ふ女戸主が町村制第十二條第二項に依り村會議員の選擧權を得たといふ事實であつて、最近同地方新聞紙の報道せる所である。若し之れを原氏等の論法より見れば由々敷き一大事が出來したと謂ふべきではあるまいか。一般の男子にさへ遍く選擧權を與へることを以て危險視して居る時代に、治安警察法第五條に依て男子以下に取扱つて來た女子が、其の治警五條が今議會貴族院に於て握り潰された折も折、突如參政權を得たといふことは、蓋し大なる非肉であると倶に實に晴天の霹靂ではあるまいか。然し町村制第十二條第二項には第七條一項の要件に當らずとも明言し、第九條第二項第三項に抵觸せず、また六年の懲役及び禁錮以上の刑に處せられない者は悉く其の町村會議員の選擧權を有することになつて居るのであつて、女子は之の限りにあらずといふ除外例を認むる樣な規定はないのである。輙ち此くの如くして彼女は其選擧權を得たのであつて、假令其の範圍は極めて狹いものであるにしても、現行制度の下とに在つて女子も猶ほ國家の政治の一部に參與し能ふことは、寸毫も爭ふ餘地の無いこととてある。然らば治警五條が存置せらるゝと云ふことは矛盾てはなからうか。又町村制に於て女子の選擧權を認めながら普通選擧を危險視することには聊かの撞着もないてあらうか。茲に於てか原氏等も夙く春眠より覺醒すべきてはあるまいか。今や滿鐵問題東京市政の紊亂贈收賄事件などゝ種々なる醜怪事件は走馬燈の樣に國民の前に羅列されて居るのであるが、是は擧覺制限選擧の弊害の齎した結果てあつて、此の局面展開には普選斷行が焦眉の急である。而かも普選は決して危險でないのみならず、既に現行法制上からも演繹せらるゝ結論であり、現下社會の實相から觀ても當然歸納する結果なのであるから、當然之れを行ふべきてある。(清美)

廓清
THE PURITY
第十一巻第四號
大正十年四月

闇中に燦く曙光

廓清會長 島田三郎

□我國の現狀は悲觀す可きか

盾の反面を觀れば、今日我が社會の狀態は悲觀すべき材料に滿ちて居るが、其の外に現はれたるものは百中の一二にして全部ではないのであるが、それすら人をして悚然人心の墮落と社會の腐敗とに歎息の聲を放たしむるに至つた。東京市政府政の醜穢なる、その始めは斯迄範圍が廣かるべしとは思ひ及ばなかつた者が多いのである。然るに人をつゝけばつゝくに從つて益々擴大し、非違を糾すべき警視廳部内にも刑事被告人を出すに至つた。全國第一の地方官の筆頭たる東京府知事も檢事局に召喚されたと傳へられる。引けば引く程蔓は延び、穿てば穿つ程種は擧がる樣に見える、横濱の稅關問題も地方より中央に飛んで大藏内務の内にも嫌疑者があると新聞は傳へてゐる。最近には神戸にも何かあるとの沙汰てある。至治の世と雖も罪人を全く絶つことはないが、治めらるゝ多數の側のみてなく、治むる少數の而も人爵上治者と呼ばるゝ者の中から、續々犯罪人の出てんとするは驚異の眼を以て見ざるを得ない。

惟ふに時代の風潮は利己主義に流れ、物質追求の念は道心を昏まして、人の見ざる處には何事をも爲し得る程に人心が腐敗し社會が糜爛したと思はれる。如斯にして底止する處を知らざれば各自の間に存する信用は全く絶えるのである。人に委任することが出來ず、約束することも出來ぬ。一切の工事には信賴することが出來ぬ。一切の請負には約束することが出

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

來ぬとなつたら、社會は土崩の勢を呈するであらう。且つ斯の如きことを繰返してゐる内には、人は不正事件を聞いて驚かぬ程良心は鈍るのである。始めは非違を聞いて驚き且つ怒つた人が、やがて無感覺となり、終には斯くして其或者は免るゝのであるから、巧みにやれば免るゝことが出來る故我もやつて見むとの横着心を生ずるに至る。又不法の行爲をなしても無證據で終れば社會は是を咎めぬ程無制裁となるから人々は惡事をなして恥ぢず恐れざるに至る。是によつて虛榮を張れば人は富に憧がれ力に服して、或は羨み或は倣ふ様になり、遂に不良分子が善良分子を社會より驅逐するに至るかとも思はれる程恐るべき結果を見ることゝなる。

斯く觀じ來れば、現在の有様は極めて悲觀すべき狀態にあるやうである。此の勢は四年半ばかりの世界の大戰に不當利益を占むる者があつて、是を押へ之を制して禍を未然に防ぐことをなす國政の當局者が、却つて此の勢を奬勵助長したから、滔々として急流の谷を下るが如く驕奢となり放逸となり、苟も金錢の利益あれば其の手段の如何に不拘、一躍して社會の勢力家となり。紳士と呼ばれ名家と謠はるゝ如き思想の混亂を呈して、彼の如き議會の政爭を呈したのである。

□田沼意次時代の秕政

併し乍ら元之れ一時の惑亂て、人心が腐敗して後に沸き出でたる禍と云はんよりは、勢に驅られて人心が狂亂したのである。勢極まれば變ずといふことは國運の上に就てもあることとて、他の半面を見れば決して落膽失望すべきではない

今を去る凡そ百五十年前、徳川十代將軍の世に當つて田沼意次と云へる奸權が幕政を紊つて天下を惑亂したことのあるのは、普く世人の知る處である。彼は小身より起つて老中の筆頭に進み、將軍の闇弱を機會として種々なる惡辣の手を政治に伸ばした。自身相場をやつた政治家は彼である。驕奢の風を煽いだのも彼である。自ら賄賂を收め屬僚を腐敗せしめたのも彼である。如斯にして民政は紊れ、天災人禍交も至つて、飢饉相次いで起り、餓莩奥羽の野に充ちた。徳川の天下茲に破れんとする迄に見えた。當時如何に教育の衰へたかは左の一挿話によつて知られる。政治の費用が殖えて儉約を必要とするといふ說が起つた時、勘定方は湯島にある昌平黌構内の聖廟を壞たうとの說があつた。田沼は『一體聖廟とは何か』と問ふた。係の吏僚は『何か古い支那人を祀つたとの話である』と答へたといふ。壞たんとする役人も是を採用せんとする老中も、孔子廟の何たるを知らぬ程無學であつた。此の一事を見ても當時儒學を基礎とする教育が衰へ、五代將軍の時に創立したる聖堂の履歷も知らざる程であつたから、一般教育の衰退推して知るべしである。恰度此時豫て徳川の幕政を喜ばざる勤王の志士は、今日こそ幕府を覆す時と考へて、有名なる高山彥九郎が紙旗を叡山に飜して討幕軍を起せば、四海響應すべしと謂ふに至つた。以て民政の紊れ人心の腐敗思ひやらるるのである。

□白河樂翁公の廓清

然るに十代將軍俄に逝去して茲に政機は一轉し、政治改

革の切迫せることを感ずる者があつて、或る經緯を經て白河の城主松平定信を老中筆頭に擧ぐること丶なつた。有名なる白河樂翁と謂はるゝは此人である。此人極めて篤實、學を好み身を以て天下に先立つの心を抱き、田沼意次の爲す處に正反對の方針を執つた。教育を勵まし民政を振ひ、經濟を整へ德風を盛んならしむるの政道を鋭意實行した。數年ならずして民心は一變した。驕奢淫逸放慢荒怠の氣風は止んで、敗政は復し、經濟は整ひ學政は擧がり、近世史家のいふ處の寛政の治績を擧ぐるに至つた。樂翁非常に其の成績に愉快を感じたと見えて、左の一種の歌が殘つてゐる。

柴の戶は夜半も閉ざさて通ひ路の
落穗を拾ふ人だにもなし

是は支那の至治の世には、人々が不善の行ひを自然に嫌ふ樣になつて、道に落ちたる物あるも拾はず、夜戶を鎖さざるも盜賊の憂なしと曰ふたのを、三十一文字に讀み入れたのである。是を天明年間の田沼意次の腐敗時代と比ぶれば、全く別世界の如くになつた。

人心の奧底には何れの世に於ても善を好み惡を憎むの美はしき觀念が潛んである。利慾の念が是を紊つて良心を昏ますが爲めに、良心の輝きが昏くなるのである。一度啓發して其心核に觸るれば斯の如き感應は起らぬ。今日に於ても自己が其渦中に投じて利害の觀念に良心を奪はれる者は別として、日々報ずる新聞紙を讀んで如何に感ずるか、腐敗墮落の醜類が檢擧せらるれば是を快とするの念があり、檢擧せらるべくして免るゝ者があれば、其の速かに正當の處分を受けんことを望むの心は萬人一樣である。此は人の心の奧底に潛んでゐる善良の觀念の反射と云はねばならぬ。講談を聞いても芝居を見ても、罪なき弱者が虐げらるゝ時は不快の念となり憤怒の情を生ずる。忠臣が無實を蒙り奸臣が專橫なれば觀客は橫虐せらるゝ忠臣に同情するは一樣である。『芝居が流行らぬ時には忠臣藏を出せ』といふことは、昔からの芝居社會の傳說である。何人か大石良雄等の義士に同情せざるものがあらうか。支那にも同じ話がある。演義三國誌を讀んで、元德孔明が漢南に流浪するを讀み聞かすれば、少年も淚を流し、曹操が時を得顏に橫に權力を振ふ一段に至れば聞く者憤慨すると云はれてゐる。是は人情自然の反響である。芝居を見講談小說の讀本を聞けば、斯の如き良心の反響のあるは、自身が其間に利害の觀念なく、利慾の邪心なく、虛心平氣で聞くからである。此時は老少を問はず正義の觀念が湧然として沸き出づるのである。今にして我國民の覺醒を促し、其内に潛むの義心に點火すれば、社會を一新するの機運は目前に現はれ來るであらう。

□風俗の亂れが及ぼす影響

最早人心は現代に倦み果てゝゐる。極まつて變ぜんとする時期は迫まつてゐる。且つ不正の手段を以て得た富が、其人自身にすら何の幸を與へないで、却つて煩悶の禍を得てゐるではないか。公然と檢擧せられてゐる人のみでなく、不正の富を以て放縱の生活をした人は、經濟の反動から人の知らざる苦惱を受けてゐる。苦惱を受けざるも家亂れて其の屬親の

不平不滿は家庭の平和を破つてゐることは一樣である。一度心眼を開いたら不正の富は幸福の種とならずして、不幸の宣言であることは直に自覺せられるであらう。且つ不正の富は之を正當に貯へることは普通に於て實例がない。綜合して云へば此の四年半ばかりの戰爭に、日本國民が勤務に伴はざる利益を得て、私慾を充たし、私利を圖るの邪道に使用したのが、今日國として經濟の擾亂となつて現はれてゐる、個人に於ても一樣の實例は免れないと確信する。

是に就て風俗の亂れは第二第三の災を社會に流すことを忘れてはならぬ。東京府市の公人が贈賄收賄によつて市府民を苦めたその不當の金は、如來に使はれたであらうか、斯かる獄の起るに當つて、いつも其の引合となつて現はれるは待合と稱する魔窟の女將と、藝妓と稱する醜業婦であるが、此の裏面には、彼等の遊蕩と、而して其の家族の悲歎が潛んでゐることを直に諒解し得るであらう。加ふるに其の子弟は其の父兄の惡感化を受くることなしには濟まぬ。擧げ來れば物として禍ならざるはない。之を思へば人は自然の大道に歸るべきを自覺して、邪徑に足を入れることを恐れねばならぬ。

要するに權力ある者の不正行爲は、その居る處の地位と其の居る處の社會に影響を及ぼす至大である。近日現はれたる問題は、日本の政權を握る者の不正行爲が一大原因となつてゐるから、是に對して日本國民の心の底に潛める良心を事實に現はして此の禍源を一掃することが必要である。選擧も正さねばならぬ。官紀も振肅せねばならぬ。德育も勵まねばならぬ。社會も善導せねばならぬ。是等は國を愛し君を愛するの良民の職分として、各方面に當つて其受持の廓淸を努めるのが必要である。

□ピットとジョンソン

私は前に幕府の腐敗と其の廓淸を述べたが、類を更に英國の近代史に求めてお話をすれば、普く人の知る處のウォルポールの腐敗時代と是を矯正したる三大勢力の現はれてである。時の首相ウォルポールは、先づ議會を腐敗せしめて自己の所爲を抑止する力を萎靡せしむるを第一の方策として、時恰も英人が印度の事業に有利の位置を占めて、印度成金が續出した。上に宰相ウォルポールあり、外には印度の成金あり、金錢を撒散らして思想の低級の成金が續々議會に入込んだ、金さへあれば事として成らざるなしとの思想が風靡した。ウォルポールの術策に垂涎して金を入れて投票を左右するに至つた。時の諺に議員の頭に定價ありといふた。何某は幾何であるとの意味である。斯くして英國の政界は金錢萬能となり、風俗亂れ紀綱弛み、國威は落ち、內外多難の國運を誘致した。此の時に方つて人心の奧底に潛むピューリタンの精神が、英雄の喚聲によつて各方面に起つたのは、英國の恢復の前兆であつた。其の主なるものとして三方面の英雄を擧げやう。

第一は政界に於けるウヰリアムピット──後にチヤタム伯となつた親ピットのこと──である。彼は貧苦と戰ひ勢力と戰ひ、艱難と戰つてウォルポール彈劾の聲を議會に放つた。是が爲めに宮內省から受けてゐた騎兵士官の年金を奪はれて

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

窮迫するに至つたが、屈せずして不正彈劾の清議を議會に唱へて是に應ずる者が續出し、先づ政界の方面は暗中に曙光を見ることゝなつた。

・當時文界は如何と觀るに、金錢萬能の世の中とて、筆を執る者も獨立の生計を立つるには餘りに收入が貧弱であつた。文才あり思想ある者も、大抵貴族の書記となつて其の榮華を披露するの役を勸むる有樣であつたから、文章の獨立もなく世の弊害を痛論する文章は出なかつた。此秋に方つて有名なるジョンソン博士が慷慨の筆を奮つて言論文章の獨立の旗を揚げた。人も知る如く彼の親は破産して頗る貧に、其のケンブリッチ在學中靴は破れて足が出て甚だ見苦しかつたから、富貴の同窓青年が、新らしき靴を求め來つてジョンソンの部屋の入口にそつと置いた。然るに彼は却つて大に憤怒して、破れた靴も自分の物は尊い、新しい靴も人に惠まれる如きは卑しむべしといふた話がある。此の獨立剛毅の心がやがて文界を一新するに至つた。

元來英國の議會は制度上傍聽を許さぬ。今日は習慣上議事筆記もあり傍聽もあるが、是は制度上ある譯ではない。ジョンソン時代は事實上全くなかつたのである。彼は議會の腐敗は秘密會議から來る、須らく公開せしめなくてはならぬといふので、議會の言論を友人の議員に筆記させ、それを自分が名文章に綴つて新聞に載せた。議員は自分の言論がジョンソン博士によつて名文章となるから皆喜んだ。是が英國議會の公開せられ筆記が世に出てた紀元である。斯くしてジョンソン氏に從ふ有爲の士が力を合せ、文界の新紀元を作つて、政界も文界も茲に暗黑から光明の域に進んだ。

□ウエスレーと英國の恢復

併しまだ是ては一の不足があつた。それは外でもない今日も尙禍害を留めてゐる英國國教の宗教稅である。英國國教の信仰個條に服せざる自由教會は、年を逐ふて增加發達したが當時は國教の力が強く、所謂御用宗教で、政府當局の不便のことは自然に論ぜない保護教會の體裁であつた。此時に近代のポーロと呼ばれたるウエスレーが世に現はれたのである。此人は自給自足の獨立教會を立て、その天才を振ふて四方に說教し、國民の良心を刺激した。善を好み惡を嫌ふの精神が始めて雲霧散じて天日を望む如く現はれた。此が爲めに腐敗を洗ふの道德思想が社會に橫溢するに至つた。此の新らしき教會が即ち現代のメソヂスト教會で、ウエスレーはその開祖である。此の教會は國教以外に最も民心を善導啓發する平民的教會であつたから、人の心に潛める善を好み惡を厭ふの良心が天下に橫溢し近代の英國は此時に其の基を立てたのである。

政界のピット、文界のジョンソン、而して宗教界のウエスレー、此の人々の力によつて續々英才は現はれ、改革は成就した。或者は曰ふ、若し此の國政一新の活動なくして佛蘭西の革命に接したら、英國も同樣の革命を見たであらう。幸にウォルポールの秕政を一洗する是等の新運動が各方面に起つて、英國の基礎が動かぬ時代になつた時、佛蘭西の革命に出會ふたから、種々の困難はあつたが、其の大基礎は動かなか

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

つたのだ。と

我が日本も外に激しき國際の交際あり、内に新紀元の曙光に浴せんとする民衆全體の希望ある此秋に方つて、國政を一新するの覺悟をなさねばならぬ。其の大本を捨て丶徒らに言語文章の末節に趨り、口に危險思想を憂ふと唱へながら、危險思想を醸發する原因を除かざるは歎ずべき次第である。眞の忠君愛國の實行を心とする者は、已を正し人を正すの一大覺悟を要すると思ふ。

今議會が取扱つた婦人問題

成女高等女學校長　宮田修

治警法案の否決は、上院側の頭腦の古いのを證明した丈で吾々は別に喜びも悲しみもしない、要するに實力の時代であることを自覺した人には直ぐ判斷ができるわけてある。元來治警廢止案なるものは婦人參政の前提をなすものであるが、婦人參政そのものは、今の一般社會の狀態や婦人自身の素養が果して之が直ちに善い結果を得るてあらうか如何かは問題で、吾々としても直ぐ婦人參政權の實現せられ樣とは思はないけれど早晩は必ず實行せらるべき理由はある。今回の治警廢止案の如きは勿論政治に携はり參政權に進む修養の道程てあると思ふ。之を要求すべき理由はいくらもある、政治家は男子の獨占すべきものでなく人類の生活及文化は男女協同の下に行はるべきもので國家の成立は之れから始まるのである、過去より現在までの文明は起伏極りなく、盛衰を繰返したのは、何時も男子の一方に偏して、文明は男子の占有であり、或は或階級の文明だと誤信して居つたからで、文明の破壞も畢竟は此に基いたものであつて、婦人もそれに對して特有の素質性格に基く盡力をすべきが當然である。人動もすれば兵役關係を云々して婦人の參政權を非難するけれども、元來戰爭は男子の仕事であつて、強く言へば野蠻的の仕事である、文明的のものである以上は婦人が之に參與すべきは當然の事で、過去の文明は之を落して來たものだ。殊に之に對する段階として治警五條撤廢は自明の論理であると思ふ。或議員はこの案を過激視してゐる樣だが、そんなら今の議會はその通り穩健なものであらうかと言ひ度くなる。畢竟は五十歩百歩で之れを否決したのは固陋な頭腦からか、或は婦人を馬鹿にした行り方であると解する他はない、併し、今回は否決されても時世の進步は、軈て斯んな障碍物はドシドシ倒して行くから左のみ悲觀する必要はない。來年の議會には恐らく通過を見るてあらう。(談)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

第四十四議會と文教

高島平三郎

四十四議會を瞥見し家國民人の思想上に及ぼす影響の甚大なる事に想到し社會の爲め敢て默視するに忍びず昨三十一日糟糠敢て辭せざりし荊妻の四十九忌日の憂愁傷神を忘却し茲に一言せんと欲す。

他なし何ぞや、四十四議會に於ける各國務大臣の態度と將亦政黨議員行動の帝國文教に及ぼす影響の甚大轍ち之なりとす曩に桂内閣は輦轂の下流血の慘事を釀せるの故を以て掛冠せられたり、然るに田中陸軍大臣は石田領事以下同胞數百の生靈を犧牲としたる帝國未曾有の屈辱的尼港の大慘事件に對し臨時議會に於て責任を負ふべきを言明したるに拘はらず今議會に於ては遂に「其儀に及ばず」との思召に隱れて責任を明かにせず、又中橋文相は昇格問題に就て二枚舌の故を以て彈該せられたり、亦大木法相は議場に於て馬の收賄の疑ひを受けたり、更に滿鐵醜怪事件に就ては政友會之に關係し原野田の各國務大臣亦關係ありと山田某の手記に顯れたり、監督長官たる床次内相は東京市醜怪事件に何等責任なきものゝ如し、而して東京市醜事件に檢擧せられ縲泄の辱を受けつゝあるものに政友會系統ハ市會議員衆議院議員あるなり、斯くの如くにして曩昔の帝國武士道は約に反せる場合公人の前に嘲笑せらるゝを以て上なき恥辱とし身を以て責任を明かにせり、又曾つては某議員收賄の疑ひを受けたるを恥ぢて毛布を以て面を覆ひたる話柄あり刑黨と稱せらるゝを政黨の最大恥辱とせる時代ありたり、今は即ち澆季の世帝國の政治を司るべき國務大臣が公人監視の議場に於て或は彈該糺彈せられ、或は疑嫌を受け甚だしきは選良たるべき議員にして醜賄問題に連座し縲泄の辱を受け尙ほ轉として恥ぢす其職に据り世人亦之を怪まずして世の茶番事す聖賢の德義地を拂ふの時代とは實に斯くの如きをいふ乎、神戸の内田某は珍品五個を憲政會加藤總裁に贈つて天下の政治を私せんとせり曾つて内田信也は汽車轉覆して死生の間に居り「吾れば成金内田なり金は何程にても遣はす助けよ」といへりと、斯くして官公吏は職權を借りて以て政治を私し、政黨は多數頼んで橫暴私腹を念とし、成金は金を以て不正事を遂行す其文教に及ぼす實に甚大にして新潟某中學の生徒は卒業後曾つて學べる校長に向ひ『先生の修身講義は謹んで拜聽したるも彼れは戲談なるべし吾人社會に出てゝ見るに御教示を旨とせば世渡りする能はず我社課長三人妾を蓄へ酒池肉林の行をなしつゝあり世間は同課長を手腕家なりと目しつゝあり云々』佐野高商校長は其校優等卒業の秀才某に教授たらん事を依賴せるも秀才某は曰く『教授として最高の地位にあたるも年俸三千圓先生の程度のみ』と答へて辭せりといふ。

上の行ふ所下之に傚ふ政治家の行動の風紀に及ぼす斯くの如し、吾人は政黨政治の弊害に厭けり成金の卑行に厭けり政治家の橫暴にあけり今にして精神的改革をなさゞるべからず。華を去り實に就かしめざる可からず、然り然らざれば遂に國家を救ふ能はず、國家を救はんと欲せば民衆運動を盛んにせざるべからず。米國のデ・クラシー〳〵と叫ぶが如く吾人は公正〳〵と叫んで以て此の澆季の世を救はんと欲す。（談）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

恐るべき花柳病毒

醫學士　高楠榮

＝◇常習流産＝子孫に及ぼす影響◇＝

婦人が梅毒に感染すれば、男子の場合と同じ徑路を取り、終には内臓を冒し主要なる機關を害し、悲慘なる運命に陷りますが、その内殊に目立つて現れるのは、妊娠に及ぼす慘な影響で、折角妊娠した胎兒は、暗から暗に流産したり、死んで生れたり、或はまた早産したりして、滿足なお産は出來ず、多くは妊娠後半期の七八ケ月で死んで生れます。梅毒が第二期を經過し全身に深く潜伏し進入しますと、一見全治したやうに見えても、その病毒は烈しく働いて居るから縱令妊娠しても幾回も流産死産を繰返し、滿足なお産は殆んど望まれません。外國の統計では　この種の常習流産の六十パーセントは、梅毒に原因すると云ひますが、曾て私が調査研究した所によると、その約八十パーセントは、血液中に梅毒の反應あるを確めました。卽ち常習流産の癖ある百人の婦人中、八十人までは、折角妊娠しながら、梅毒のために流産を反覆して居るのであります。これは家庭の不幸は勿論、國力の上から見ても、非常な損害と云はなければなりません。

縱令月滿ちて無事に生れたとしても、親に梅毒があれば、その子も毒を帶びて生れ、體質が弱くて病身であつたり、低能または痴呆であつたり、極く輕いものでも何所かに故障があつて、强健で頭腦の良い子は期待されません。この點は殊に梅毒の恐るべき所で、所謂第二の國民を弱くし、一家繁榮の運命を閉塞するのみならず、次の時代の國力をも萎靡せしむる譯で、遺傳の法則に考へ、その影響する所を想へば、實に戰慄すべきものがあります。

然し近世醫術の進歩により、その療法も大に進み、今日では適當の時期に適當の治療を加ふれば、それを根治し得る程度にまでなつて居ります。曾つて私は片假名で書いた、可愛らしいはがきを貰ひましたが、それは曾て八回まで死産した婦人の血液を調べて見ますと、著明な梅毒の反應が現はれますので、驅梅療法をしました結果、九回目の妊娠は滿足に經過し、月滿ちて丈夫な女の兒が生れました。それが今年九歲になり、先日一學年を優等一番で及第したと云ふので、その子から禮狀を寄越したのであります。これは今日の醫術が、梅毒に打勝つ程度にまで進んで居ると云ふ、顯著な一例を擧げたのですが、其の點になると、同じ花柳病でも痳病の方が餘程始末が惡いと思はれます。卽ち場合によつては必ずしも全く治療が出來ないのみならず遂に生命を失ふ樣な事もありま

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

す。この事は特に世人の注意を喚起したい所です。

◇不妊症の原因と夫たる男子の罪科◇

梅毒の經過は寧ろ慢性的で、餘程緩慢に進みますから、通常急激な苦痛は來ませんが、痳病から來る症狀は激烈なものが多く、普通は先づ子宮を冒し、子宮內膜炎、實質炎その他子宮ゝ病氣を起し、進んで喇叭管等を冒します。この時には稀に徐々に來ることもありますが、通常急激に痛み、同時に骨盤腹膜炎を併發して、激烈な疼痛を起します。また尿道を冒せば尿道炎、尙進んで膀胱加答兒などを起します。尤もこれは急性から亞急性となり、漸次苦痛も緩和して治療の道もありますが、子宮を冒して執拗こい內膜炎となれば、療治にも手間取りますし、肝腎の畑を荒されて姙娠を妨げ、よし姙娠しても早期に流產して、滿足なお產は望まれないことになります。それが更に進んで喇叭管を冒せば、排卵の通過する道を塞ぎ、爲に姙娠不能となつてしまひます。

子供のない原因を調べて見ると、その五十パーセント乃至七十パーセントは、痳病に原因すると云はれる位で、この病氣のため不幸な憂き目を見て居る婦人は夥しいものです。而かもその治療は梅毒ほど的確を期せられず、殊に喇叭管を冒した場合の如きは、一時その痛みが去つても聽にまた再發し、度々反覆するものですから、勢ひ喇叭管も卵巢も取り去らなければならぬことになり、その結果は絕對に姙娠不可能となります。勿論患部によつては、手術により閉鎖せる喇叭管を開口し、排卵を受け得る狀態にすることも出來ますが、そのため姙娠可能となるのは甚だ稀れであります。

不姙の原因は夫婦何れにあるかと云ふに、その二十五パーセント乃至三十三パーセントは夫自身痳病のため、子種の全く無い事を調べられてあります。その他の六十七パーセント乃至七十五パーセントも、前述の如くその五割乃至七割は痳病に原因し、痳病は實際上全部夫より傳染したものですから、不姙の責任は殆んど皆な男子にあると云はねばなりません。男子がその罪を棚にあげ、子無き婦は去るなど、徒らに婦人を責めるのは、勝手極まつたことと云はなければなりますまい。啻に子供が出來ないのみならず、無殘にも花嫁の無垢の畑に病毒を植ゑ、爲に盛りの花を散らした例は常に見る所で、令孃が、結婚すると間もなく夫の痳病に感染し、その結果死んだ例もあり。また某名士が歸朝の土產にこの病氣を持ち歸り、忽ち貞淑なる夫人に傳染して、間もなく逝くなつた例も最近にあります。この種の實例は殆んど枚擧に遑なきほどで、花柳病と云へば一般に、他の傳染病ほど恐いものと思はれないやうですが、實は自己を傷け胎兒を殺し、時に最愛の妻をも殺すものです。社會は大にこゝに覺醒しなければなりません。

この外痳病が內生殖器を冒した場合には、往々子宮外姙娠となる危險があります。それは喇叭管が冒されて、その職務たる排卵を運ぶ作用に障碍を受ける結果、排卵は子宮に送らるゝ途中に停滯し、そこに精子と相會すれば、子宮外姙娠となるのであります。その最も多いのは喇叭管姙娠で、それが發育につれて破裂すれば、一時に腹腔內に出血して、爲めに一命を失ふことになります。(尤も早く診斷して手術すれば助

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

かりますけれど）

＝◇一人子＝産褥中の淋病と悲惨なる小兒の花柳病◇＝

また一人限り子か出來て、後に出來ないと云ふ人が澤山ありますが、これは姙娠可能のものが、分娩後下姙となつたものて、殆んど全部、産褥中に傳染した痳病に原因すると云つてよい位てす。分娩後は内生殖器が未だ十分復舊せず、云はば新しい畑のやうなものてすから、病毒の傳染も容易に且つ猛烈に冒します。この猛烈な毒が内膜喇叭管等を冒せば、今まて十分姙娠し得る狀態にあつた生殖器が、爾後生殖能力を失ひ、最早姙娠不能となり了るのてあります。これは潜伏して居た夫の痳病が再發して、産褥中の妻に傳染するのもありませう。または分娩後抵抗力が弱くなつたゝめ、夫の病毒に感染するのもありませうが、妻の姙娠中夫が不品行をして毒を受け、それを産褥中の妻に移す場合が最も多いやうに思はれます。

姙娠中痳毒があれば、分娩の際胎兒が産道を通過するに當り、その眼に毒を受けて初生兒膿漏眼を起し、遂に失明することになります。この場合産婆は規則として藥を點眼し一應の消毒はいたしますが、それても往々これに罹ることがあります。また痳毒のある産婦は、産褥熱を起し易いと云ふことも注意すべきことてす。

また兩親の何れかに痳病があつて、子供を抱いて寢るとか、或は浴槽、手拭、寢衣などの媒介により、子供に傳染することがあります。殊に女の兒に多く、十歳以下の少女にして花柳病に罹つて居るものがあります。普通は尿道及び膣などを冒されて居りますが、過つて眼に來れば、爲に膿漏眼となり、失明することになります。

＝◇幾多の家庭の悲劇と改善を要する婚姻條件◇＝

婦人が花柳病に感染し、婦人科病に罹れば、腹が痛んだり腰が疾めたり、或は足が吊れるとか始終申分絶えず、時にヒステリーとなり憂欝に日を送り、家業も手につかず、不愉快な月日を送ることになります。それが産科的に來れば、姙娠不能となり、または姙娠しても流産死産早産となり、滿足なお産が出來ず、夫婦を結びつける子がないことは、益々家庭を冷かにして、嫁姑の折合も惡く、延いては夫婦和合の妨碍ともなります。縱令んば生命にかゝることは暫く措くとしても、直接間接に花柳病に原因した家庭の損害は、世人の想像以上のものがあります。今日の樣に花柳病が蔓延しては、とても安心して娘を嫁にやることは出來ません。曾て私は或る所に演説して婦人の覺醒を促がし、結婚するに方りて、先方の地位、財産、學問等を詮議するよりも、先づその健康を問ひ、花柳病の有無を詮議しなければならぬ。事實不姙の責任は男子にありながら、それを子なければ去るとて、不姙の寃罪を被つて甘んずべきてはない。須らく先づ對手の健康を問ふ權利を握らなければならぬと結論しましたが、その後田代博士の運動を聞き、愉快に堪へませんてした。私共醫師として、一人々々の治療をするのは抑も末のことて、もつと根本に遡つて廣く男子を警醒し、社會から治療しなければならぬと、痛切に感じて居ります。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

道德上より觀たる一夫多妻の批判

一條忠衞

一　慣習としての一夫多妻

現代の男女生活は固より一夫一婦を理想とはして居るけれとも、一面では一夫多妻が尚ほ慣習として、過去の生活をその儘に續けて居る。自分に妻といふ者があつても、妾を蓄へたり、藝娼妓を弄んだりして、一男多女の生活を營んで居る。就中、妾を蓄へる慣習は隨分廣く行はれて居る。誰でも一寸考へて見たゞけでも、自分の知り合の中で妾を蓄へて居る者は一人や二人では無からう。又た妾になつて居る者も一人や二人では無からう。況して人の噂や新聞雜誌の上で聞いて知つて居る數になつたら、算へ切れるものでは無からう。その中には有名なる人物も居るだらう。教育家、學者、政治家、軍人、實業家、藝術家等あらゆる階級に亙つて、天下の名士にして蓄妾の行爲をして居る人があるだらう。あの樣な有名な人物で、且つ國民の模範となつて居る人であつて、妾を蓄へて居るとは呆れたものであると驚くことは誰でも經驗する事である。

斯うして吾々は一方に於て非常に尊敬して居る地位の人が、他の一方に於てその尊敬を裏切る行爲をして居ることを知つた時には、非常に失望するのである。完さを人に求めることの無理なことは知つて居ても、人間の重大なる私行に就いて理想に反する生活をして居れば、これを聞いて失望するは萬人の常である。市井の匹夫匹婦ならば無教育の結果として敢て怪みもしないが、教育もあり、才能もあり、知識もあり、地位もある人が斯樣な人生の理想に反する行爲を爲して居ると知つたならば、良心のある人間は尊敬する氣になれなく成つて來るは自然の人情である。その有名なる所以に就いて盛に疑問を發して來る。その教育や才能や識見なるものは何んな程度のものであるかを怪まずには居れない。その人格に對して信望を與へることは勿論出來ぬのみならず、大に排斥したくなる。教育家であるならばさうした亂倫な教育家の教育を受けることは最も恥づるところである。學者であるならばさうした亂倫な學者の學問を賣り付けられることは、頗る不愉快なことである。政治家であるならば、さうした亂倫な政治家を戴いて議員たらしめ大臣宰相たらしめることは、國民として後悔したくなつて來る。軍人であるならばさうした亂倫な軍人を將軍元帥と崇めて、軍國主義の鼓吹者たらしめることは、國防の本義にも戻ることを知るやうになつて來

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る實業家であるならばさうした亂倫な資本家の爲めに、社會の富を惡用されて居る無產階級の不幸と不甲斐なさに同情したくなつて來る。

今日の社會は實にこの亂倫汚行の一夫多妻者によつて、樞要の地位を占められて居る。彼等はその地位と金力とを惡用して、その女色を一層發展させて居る。人格と奴隸の賣買とを同一に取扱つたり、金錢と女子とを同一に取扱つたり、政府と待合とを同一に取扱つたり、議會と藝妓とを同一に取扱つたり。妻と妾とを同一に取扱つたりして居る。そして一般民衆の中にはこの樞要の地位に居る一夫多妻者の生活を心から咀ふ新時代の人もあるが、多くはこれに冷淡で無關心の徒であるか、或はこれを羨んで模倣するの徒である。その結果として一夫一婦が正當であつて吾人の理想であることは、大勢の上からは動かぬ生活の目標であるけれども、尙ほ一面に於ては一夫多妻の行爲が滔々として行はれ、蠻習は容易に去らないのである。

去月讀賣新聞に子爵工學博士撫順炭坑長井上匡四郎氏の夫人といふ方の述懐談として、夫君の虐待に堪へかねて秘密の一切を新聞記者に告白して、社會の公平なる批判を乞ふ旨の記事があつた。その談話の要點を摑めば、夫君は露國婦人リドフなるものを帝國ホテルに圍つて居たが、病氣に付き聖路加病院に入院して居る際に、夫人に見舞に行けといふので、夫人は柔順に屢々見舞に行つたと云ふのである。或る時、夫君は病院に行くから羽織を出せと云つたら、出しやうが遲いと云ふので、松葉杖て擲つたと云ふのである。その松葉杖は或る惡性の病氣で關節炎を煩つて居る時に用ゐたものだと云ふ。夫人は斯う云つて居る。『私は人妻として多少の打擲は泣いても忍びます。井上が妾を何百人置かうとも、女中に手が懸らうとも、そんなことは何とも申しません。たつた一つ私を妻として何故認めて與れないのか、何故眞の愛情がないのであらうか。思へば私の決心は遂に最後まで行かねばなりませんでした。斷然離婚を要求する外に生きる道はないと心を決しました。然るに井上は離婚を許しません。私の家出したのはその爲めでした。私の決心の理由は、井上は人倫の大義と申しまする男子としての眞の意味の節操が正しくないからです。私は今後宗教に入り、社會奉守に盡したいと思ひます。』と。

この談話によつて問題の內容はほゞ推測される。この事件が一稱の悲劇になつて夫人をして煩悶させるに至つた直接の原因は、云ふ迄もなく夫君の一夫多妻の蠻行であるが、間接には夫婦間に男女生活に關する健全なる人生觀が無いためであつた。人間は誰でも人生觀が確乎たる基礎の上に樹立されて居なければ、色々な境遇に陷つて人生を破壞させる。殊に男女生活に關する人生觀がよく出來て居なければ、眞に人生の意氣といふものを解することは出來ない。井上氏夫婦は如何なる人生觀の持主であつたか。これを調べて見ればその悲劇の由つて生じた所以が明になる。

二　一夫多妻的人生觀

井上氏は人も知る如く、工學博士として前の帝大教授てあ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

るから學問の蘊奥を究めた人に違がない。その専攻せる學問は自然科學てあつたけれども、精神科學に屬することもまゝ人倫道德ざら知らぬ譯ては無かつたと見なければならない。人倫道德の大綱は十分に心得て居る人てあつたに違がない、學者としても教育家としても、倫理に反することを是と心得る人て無かつたことは明てある。たゞ井上氏の道德觀には一つ缺點があつた。それは個人道德や、家族道德や、國民道德や、社會道德や、工業道德と云つたやうなものゝ外に、男女道德といふ重大な道德の存することを知らなかつた。勿論全く知らなかつたと申すは過言かも知れぬが、明瞭に意識して居なかつたと云へば該當するだらう。學生時代より男女其の德育などと云ふ方面には趣味もなく、研究も爲さず、修養も敢て爲さうとも思はぬ連中の一人てあつたらうと思ふ。福澤諭吉氏の如きは明治の初年から一夫一婦が人倫の大本てあることを力説高調して居たに拘はらず、これ等の先輩の議論には耳を傾けても反對な方てあつたか、その孰れかに屬して居たのてあらう。洋書も隨分讀んで西洋の事情にも可成に明てあつたらうが、一夫一婦の制度に對しては贊成者ては無かつたらうし、又た一夫一婦の道德書類などには眼を觸れる方ては無かつたらう。隨つて過去の日本社會が奉じて居たものをその儘に受取つて信じて居たのてあらう。明治維新の元勳や實業界の成功者が盛に遊蕩三昧に耽り、妾を蓄へ、性慾の享樂を盡して居る事實をそのまゝに見覺えて、敢て意見も批判も試みる精神などは出て來ぬ側の人てあつたらう。

その結果として、この無批判的道德觀は遂に禍を爲して、一夫多妻の慣習に自己を引き入れることになつたのだらう。最初は妻と妾とを同視して居たのてあらうが、次第に妾を寵愛して妻を虐待する狂暴生活が開始されたのてある。妾の病氣の折に妻に向つて見舞に行けと命ずるなどは、誰が考へても酷い遣り方てあるが、御當人に言はせれば妻に妾の御機嫌を伺はせて、意志の疏通を圖り、嫉妬を根絶させ、姉妹の親みを結ばせようとする一夫多妻の本領を發揮した忠實な要求かも知れない。

又た一方に於て井上夫人の人生觀を見るに、これも亦た夫君に劣らず男女道德に關して明瞭な觀念を有つて居ない。一夫一婦の殊勝なる信奉者ては無くて、一夫多妻の是認者になつて居る。『井上が妾を何百人置かうとも、女中に手が懸らうとも、そんな事は何とも申しません』と。これは何といふ不見識な言だ。夫が何百人といふ妾を置かうとも、敢て苦しう御座らぬとは雅量を示した積りか、自暴自棄な言か、斯かる態度を以て本妻の權威と心得るは、何といふ時代遲れな考てあるか。妾を蓄へることを夫に是認して遣りながら、自分は妻として一方に生きて行かれる道があると思ふなどは、實に自尊心のない生活てはないか。若しそれ程までに讓歩しても妻妾群居の生活に甘んずると申すならば、夫の命令を受けて病院に見舞ふなどは朝飯前に實行すべきてはないか。寧ろ夫の命令などを俟たずに自己の發意から見舞ふべきてはないか。然るに妾を病院に見舞ふことを億劫に考へたり、夫の仕打を怨んだり、故意ならず訪問した事を以て夫に對する柔順な婦德と考へたり、敢て反對しないことを以て嫉妬の精神の

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

無いことを證明しようと努めたりするのは、些も必要のない事柄ではないか。然るに井上夫人は大に夫君を怨んで居る。一夫多妻を夫君に許容して居ながら、その夫君の一夫多妻に就いて煩悶して居る。この矛盾は何んな譯であるか。井上氏夫婦は共に一夫多妻の肯定者であり、同一の人生觀を懐いて居ながら、夫は妻を虐待し、妻は夫を怨むのは何んな原因か來て居るのであるか。これを穿鑿して見れば、この悲劇の精神的原因は立ろに指摘される。

三　妻妾道德の破綻

井上氏夫妻は共に一夫多妻の肯定者として、同一の人生觀の上に立つて居ることは以上の推斷で明になつたが、その人生觀には何處にか差異が無かつたか何うか。同じく一夫多妻を承認するにしても、その一夫多妻の內容に於て解釋の相違が無かつたか何うか、これを夫人の談話中に探して見るに大にある。夫人は言つて居る『たつた一つ私を妻として何故認めて呉れないのか、何故眞の愛情がないのであらうか。思へば私の決心は遂に最後まで行かねばなりませんでした。』と。この口說き文句から判斷するに、夫人の一夫多妻といふのは支那や日本の社會に行はれて居た過去の嚴格な妻妾道德より見た一夫多妻觀である。卽ち妻は本妻としての道德を有し、妾は妾としての道德を有し、夫は本妻に對する場合と妾に對する場合とに道德上の差異ありと爲し、妾は本妻の配下に屬して敢て擅恣の行動に出てぬ掟を規定した、家族道德に由來した一夫多妻である。

これは尤なことゝて、一夫多妻を完全に行ふには矢張り道德が必要である。妻妾の別を明にして置かなければ、妻やら妾やら譯が解らなくなる。家族道德から見れば、妻といふのは夫が家系を繼承する爲めに社會的な婚姻によつて設定した公の奧方である。然るに妾といふのは妻に子供の無い場合若くは性慾の享樂の爲めに、私に設けた日陰者である。妻は夫の名義によつて如何なる公儀の場所にも臨める資格があるが、妾にはこれが無い。そこで道德上の要求も隨つて妻を愛することゝ妾を愛することゝは判然と區別して、これを混同することを許さないのである。妾を愛するの餘り妻を疎んずるは君子の對面を傷けることになつて居た。また妻の方でも夫が妾を愛するの餘り、妾に寵愛を奪はれることは非常な恥と心得たし、妾の方でも主人に愛されるの餘り、本妻の寵愛を傷けることは非常に不道德と心得て居た。封建時代はこの道德は非常に嚴格だつたので、夫の方でも、妻の方でも、妾の方でも、互に修養して同一の掟を遵奉し、三角同盟を作つて落付いて居た。けれども、この三人の中で一人でもこの掟を無視する人間が出て來れば、三角同盟は破れて恐ろしい渦を卷いてお家騷動を勃發したのである。

井上夫人の言を聞くに、つまりこの妻妾道德の嚴守を夫君に逼るに外ならない。『たつた一つ私を妻として何故に認めて呉れないのか』と訴へるのも、『何故眞の愛情が無いのであらうか』と歎ずるのも、三角同盟の一端が崩れて妻としての道德的地位が傷けられた形である。妻としての社會的資格は次第に薄くなつて反つて妾の身の上に加はらんとし、妻に對す

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る夫の愛情は日に薄らいで反つて妾の上に彌や增りに增らんとする勢である。これは明に妻妾道德の破綻である。夫が妻に對する道德と妾に對する道德との差別を無視して、妻に對する本務を怠り、妾に對して本務以上の行動に打つて出てたものである。又た妾の方から考へれば、主人に對する道德と本妻に對する道德との差別を無視して、本妻に對する本務を怠り、主人に對して本務以上の手管に出てたものである。この道德關係からして、遂に妾は本妻の資格を與へられ、妻は妾の地位に陷らんとして居るのである。『私を妻として何故に認て呉れないのか』と訴へるのも此處に原因を發したので妻妾道德の破綻に對する良人の責任を問はんとする言である。

併し乍ら、この問責は事實上に於て幾何の效を奏すると思ふか。良人や妾に對して、本妻の權利を主張することは何程の成功を期待し得るか。家族制度の行はれて居た封建時代ならば或は出來たてあらう。妻妾道德の社會的輿論に訴へて、公儀なり親戚なり朋友なりの捌によつて、自巳の權利を擁護することも相當に出來たてあらう。けれども、家族制度の既に崩壞した今日に於ては、妻妾道德を擁護する社會的輿論なるものは存在しないのであるから、妻妾道德上の不法行爲を訴へる場所もなく、權利の侵害を證明しても救護を保證する人もない。既に時代思潮の變遷として妻妾道德は價値を失つて居るのであるから、縱令一夫多妻の行動に出てて妻妾併立の生活をして居つても、その道德的利害に關しては時代思潮の上より何等の保護も制裁も加はらないのである。唯だ夫と妻と妾との間に不文法的に過去の妻妾道德を懷古的情緒によつて起用して居るだけてあつて、社會的には何等の意義も勢力もないのである。

然るに井上夫人は時代錯誤にも本妻の權利を主張して、名實を正し、夫の本分や妾の本分を明にせんと欲するのである。これは非常なる不見識てある。既に時代の道德的觀念として一夫一婦を以て男女生活の理想として居る今日に當り、過去の蠻習に外ならぬ一夫多妻に贊成して、而も妻妾道德を過重して本妻の權利を主張するなどは滑稽千萬てある。良人を責めて『井上は人倫の大義と申しまする男子としての眞の意味の貞操が正しくない』と言つて居るが、これはこのまゝ正直に受取るとしても、一夫多妻を是認して妻妾群居の生活すら辭さない井上夫人は、女子の人格を維持する上に於て眞の貞操を有するとは申されない。一人の男子と一人の女子とが性的生活を爲すのならば眞の貞操と稱することが出來るが、一人の男子へ數人の女子が奉守して性慾を提供するのならば、これは貞操どころか、賣淫てある。縱令本妻の提供する性慾てあつても、今日の一夫一婦の道德觀念から見れば明に賣淫てある。

四　性愛の特質

井上夫人の要求は妻は妻として認めて、眞の愛情を傾けよと云ふのであるが、これは何の聲てあるか。妻妾道德から割出された差別愛の聲てある。卽ち妻を愛することゝ妾を愛することゝに嚴然たる差別を設けて、妻は妻として愛して、妾は妾として愛せよとの要求てある。妻を愛するに妾を愛する

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が如くし、妾を愛するに妻を愛するが如くする亂倫の無からんことを希望する聲である。これは封建時代には實行されて居た。差別愛が確に守られて居た。妻を愛する愛と妾を愛する愛とは自ら異つて居た。妻を愛する愛は氣品の高い愛てなければならぬとせられ、妾を愛する愛は玩弄の愛て宜しいと云ふことになつて居た。卽ち愛の量の問題ではなくて、質の問題になつて居た。けれども男女の愛には本來斯様な差異はあるものか何うか。男女の性愛は差別愛であるか、平等愛であるか、共産愛であるか、人格愛であるか。これは道德上の見地によつてその何れにも決定することの出來るものであるが、道德の發達と進歩とに從つて變遷するものである。過去の社會では或は差別愛と解し、或は平等愛と解し、或は共産愛と解したのであるが、一夫一婦の制度に進んだ現代の男女道德では人格愛と解するのである。一男一女はその愛を人格的に實現して、他の同性から侵害されずに、その愛の究竟的滿足を得んとする本能的意義を有する愛である。卽ち本能愛と心理愛と倫理愛とを兼ねた一男一女の人格的戀愛が眞の性愛である。そして現代人は次第にこの意味の性愛に向つて、過去の性愛から移動して來て居るのである。如何に放蕩三昧な男子でも、如何に不貞操な莫連女でも、時代思潮の趨勢と唯物史的社會制度の上から、さうならざるを得ないのである。殊に妻妾道德が社會的に破綻して居る今日に於ては、妻に對する愛と妾に對する愛との差異に對しては殆ど社會的制裁が無いのであるから、夫と妾との間に生ずる愛は伸び次第に伸びられるので、遂に夫と妻との間に生じた一切の愛までも奪へ取つて發達させることが出來る。井上氏が露國婦人を帝國ホテルに蓄へて置いたとすれば、それを如何ほど寵愛しても又た露國婦人が如何ほどスラブ魂を同氏に打ち込んでも、昔の妻妾道德よりは何等の社會的制裁もなく、唯だ一夫一婦の新道德より擯斥を受けるだけである。けれども、その戀愛が餘りに熱して居るが爲めに、世の擯斥をも顧みるの遑がないとすれば、事實上一夫一婦の性的生活に推移せんとするものであつて、本妻を疏んじ、これを厭ひ、これを虐げ、その愛を失ふは自然の成行である。そこで感情の行違で松葉杖で妻を打擲する狂暴に走つたのもその結果である。嫉妬の精神からして妻を打擲するのならば內部にまだ愛の存する證據だが、妻か自分の性慾の爲めに邪魔になるので打擲すると云ふのであれば、明に愛の失せた打擲である。井上夫人が離婚を要求するは正當な考である。然るにこれに對して夫君が贊成しないのは、政略結婚上から見て不利益だからであらう。そして妾との間に宛然たる一夫一婦的の戀愛を組織して享樂を恣にすると共に、夫人は單にこれを子爵家の戶籍面を守る番人として保存して置かうという魂膽からであらう。併し乍ら斯様な卑しい欲望の犧牲となつて飜弄され、侮辱と虐待とを加へられてまでも、本妻の空位を保つて空閨に泣いて居るは、眞個の女子の執るべき態度では無い。飜然として處決すべきである。夫君にして協議上の離婚に應ずる意志なしとすれば、裁判上の離婚によつて處分すべきでは無いか。そして一夫多妻の誤れる社會制度より脫し、恥づべき妻妾道德より免れ、誤れる性愛觀を棄つべきである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

五　一婦多妻と經濟道德

一夫多妻の制度は封建時代によく行はれた制度である。それは社會の要求と經濟狀態の適合とに由來して居る。この時代には戰爭を業として居たのであるから、子孫の後繼者を多く要する爲めに、諸國豪族の武士は爭つて妾を蓄へたのである。又た戰勝の勇士等は享樂の爲めにも妾を蓄へたのである。そしてその費用は封祿によつて支辨して居た。封土の大きい領主や祿高の大きい家來は、分に應じて妾を有つて居た。然るにこの武士の封建制度が頽れて四民平等となり、私有財產制度が發達して資本時代に入るに及んで、一夫一婦は主として無產階級に行はれ、一夫多妻は資本家階級に行はれる現象となつた。今日妾を蓄へて居る男子があれば、それは無產階級の男子では無くて、有產階級の男子である。謂ゆる經濟上の剩餘價値を性慾の享樂の爲めに費消して居るのが、現代に於ける蓄妾の現象である。殊に現在の日本に於ける有產階級には蓄妾の風が大に流行して、昔日の封建時代に於ける武門武士の蓄妾振りに異ならない。昔は槍一本の力で自己の蓄妾も出來たが、今日は金の力によつて出來る。殊に日本の法律では妻のある男子が獨身の女子と通ずることは、姦通罪を成立しないし、縱令新法律が出來て姦通罪が成立するやうになつても、名譽を重んじて告訴しない內情に成り勝てあるから、一夫一婦の道德が進步しない間は、法律や一筋繩では蓄妾を取締ることは覺束ない。

井上氏は元法制局長官井上馨氏の女婿として、又た華族として、又た工學博士撫順炭坑長として、何處から見ても有產階級の人である。世間並に見れば妾の一人二人を持つことは、氏に取つては當り前かも知れない。外國婦人を帝國ホテルに構ふ費用ぐらゐは、何處からでもはだき出すかも知れない。自分の腕の働きによつて妾を蓄ふのであるとすれば、經濟上正當の行爲だと思ふかも知れない。けれども、今吾々は腕や働きに就いて云々するのでは無い。又た妾を蓄ふ費用の財源を調べようと欲するのでも無い。唯だ氏の豪奢なる蓄妾振りを仄聞して、氏の經濟觀を窺はんとするのである。先づ氏は個人經濟に於ても蓄妾の行爲を正當と心得て居ることによつて、既に經濟道德の思想に缺け、齊家の德に反し、貧弱なる經濟觀の持主であることを立證して居る。次に氏は國民經濟に關しては何んな思想を懷いて居る人か。氏は理財に就いて誠實な人か。公平な人か。吾々は幸にも昨今世間に喧しい滿鐵問題の一人として、氏に關する記事を山田潤二氏の手記中に見出し得るので、これに據つて氏の經濟道德觀を知るの便宜を有して居る。山田氏はその手記の中に旅順炭坑庶務部長小日山直登氏の憤慨談として、左記の記事を發表して居る。

三月中なりと記憶す。井上炭坑長（匡四郎）より搭連炭坑を買收するに付評價せよとの命あり。炭坑長は前明言して曰く、『之れは天降り案なれば是非なし。或る目的の爲に買收せらるゝものなれば、其心組にて評價せられたし』と。予答へて曰く、『此買收には徹頭徹尾反對なり。第一、其炭價にあらず。此點に於て絕對に反對せざるを得ず。第二、同會社は完全なる採坑權あるものに非ず、單に支那人との契約上に有する權利に過ぎざれば、評價するを得ず』と。井上

氏は『或目的の爲にする天降り案なれば機等を議論し居る餘地なし。又評價は完全なる採坑權あるものと假定して計算せられたし』と、天降りなる語を數次使用せられたるには、余も呆れて坑長の顔を暫時眺め居れり。——井上氏曰く『何分特殊の目的あつて滿鐵の最高幹部が高等政策として買收するものなれば、之を諒として是非の議論は罷め、其評價の如きも幹部の内意もあれば、成べく高價に東洋炭坑會社の爲に有利に計算せられたし』と。

次に同手記には山田氏が辭職の決心を以て中西滿鐵副社長を糺問した時の記事の中でも、井上氏に關する事項を取扱つて居る。山田氏は左の如く云つて居る。

余が何が故に斯る巨額の買收に關し其等の事情を究めずして漫に獨斷を以て實行せられしや、是れ滿鐵の利益を尊重せざるものなり』と責めしに對し、中西氏は『撫順より提出せし評價が百五十萬圓乃至二百五十萬圓なりしを以て、二百萬圓とし、二十萬圓だけは先方に儲けさせてやる氣にて二百二十萬圓にて買收せり。之れ一に井上炭坑長の意見に依り、正當有利と考へて爲せり』と答へらる。因て予は『其評價表は六月十七日附を以て提出せられたるものにして、契約締結前には『二百萬圓ならば困る』と云ふ電信あるのみに非ずや』と詰りしに、『其如き電信は知らず、予は唯だ此評價表に依り井上を信賴して買收せしものなり。仍て若し君が謂ふが如き不正ありとせば、或は井上にあるやも知れざれども、予にはあることなし』と。

この記事を讀んで吾々はその總てを信ずる譯では無いとしても、井上氏の經濟道德觀の誠實を缺いて居る事實は信ずるに足る。賞價六七十萬圓の世評あるものを百五十萬圓にも二百萬圓にも評價して、署名までしたとすれば、何う考へても公平無私の精神を缺いて居る人である。徒に權勢の爲めに謀り、私利の爲めに奔走して、國民の利害を眼中に置かぬ觀がある。氏は政府と政商との間に斡旋して、遺利に與らんとする一種の幇間に異ならぬ言動をして居る。氏は嘗て高等學府に敎鞭を執り、商工立國の策を子弟に授けた敎育家であつた。然るに今は妾を蓄へ、正妻を虐待し、惡性の病に苦しみ、尚ほ權勢に阿諛し、私利に與みし、唯だ榮爵と女色と金錢の爲めに、享樂を貪ることを以て能として居るの觀がある。これは切に氏の爲めに惜しむ事である。

◇大阪に於ける藝者

大阪府保安課の最近調査に依れば、大阪府下の藝妓總數五千二百十一人中、之れを出生別にすれば、嫡子三千六百四十一人、庶子二百八十四人私生兒五百七人、養女七百五十九人て、養女が最多數を占めて居るのは幼い時に買ゐ子されたものであるらしいとの事であるが、家庭の狀況を見ると實父母に養育された者三千七十七人、片親千三百九十九人て、全然他人に養育された者は七百三十五人て、更らに敎育程度は小學校を卒業した者二千九百十六人、小學校を卒へないもの二千二百三十九人、中等敎育を受けた者が五十六人あるといふことだ。而して彼等が藝妓になつた動機は自己の希望からなつた者が尤も多くて四千七百九十七人に達し、全然自覺なくして藝妓になつた者三百五十七人、誘拐されて沈んだ者が五十七人。尙ほ過去五年間に於ける彼等の移動は、結婚した者三百八十三人、娼妓になつた者十二人、妾千百六十五人、他府縣へ鞍替した者千二百六十八人、全く不明な者五千三百八十二人、貸座敷料理屋等を營んで居るものは三百十七人あると

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

數字に顯れた墮落社會

足羽清美

歐洲の大陸に戰端が開かれて以來、歐大陸の各國民は其の慘禍に涕かしめられたのであるが、我が國にはその影響として小ひさな金の渦が捲いたのであつた。その結果は人心をして萍の如く漂々として浮動せしめたのであるが、所謂戰時成金と唱ふる徒輩は、隨分狂氣染みた金の費ひ方をして社會の耳目を驚かせたものであつた。

其處て、彼等の消費に依つて生存して居る人間の數、その消費高、彼等の不德の犧牲者等を數字に據つて之れを觀、此の照魔鏡によつて如何に社會人心が道德的に麻痺しつゝあるかを見るのは決して駄足ではあるまいと思ふ。

即ち私は所謂倫落の男と唱ふる道德的痴呆症の患者（嚴正に見て最早人間といふを得ないのである）、道德的低能兒（假令大臣であつても華族であらうとも破倫者をいふのである）が、我が國に如何に多くあつて、一面には各自の家庭を壞ち、延いては社會の秩序を如何に紊りつゝあるかを社會に告げ度いと思ふのである。

此れを先づ戰爭の始まつた翌年、乃ち我が國に金の渦が小さく捲き始めた大正四年以後三年間の狀態を、順序として列記して見るに左の如くである。

種別	大正六年	同五年	同四年
貸座敷營業者	一一・三二八	一一・〇三二	一〇・七四九
引手茶屋	一三	一三五	一二四
娼妓	四七・八二三	四八・九二〇	五〇・八〇三
藝妓	五三・四六六	四七・七〇四	四五・五〇九
藝娼妓兼業	二四七	二五〇	二二六
貸座敷雇人（男）	五・八七八	七・〇七四	五・三三九
貸座敷雇人（女）	一七・九〇九	二〇・七六七	一六・七二〇
遊客	三・八三〇・八一四	二〇・五六一・二五二	一六・六四六・六四五
遊興費	四八・五九七・九六九	三八・二四八・九七六	二〇・七〇七・一七四

以上表の示すが如く、道德的低能兒の消費額は年々增加して大正六年には、實に四千八百五十九萬八千圓に達して居るのであるが、之れは未だ消極的な表であるから、十軒店に藝妓を伴れ出して雛を買つてやつたとか、其の他指輪を與へたとかいふ樣なものは勿論加算してないのであるから、實際の彼等の浪費額は頗る多額になるのであつて、八々艦隊の建造費なども殆んど問題にはなるまい。

而して、貸座敷營業者であるとか、それ等の雇人であるとか徒食者の數の多いのには驚かされるのであるが、それでもその間に娼妓の數の年々減少の傾向にあるのは、聊か心强い

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

次第であつた。唯だ藝妓の數の益々殖えゆくことは、如何に中流以上の家庭の腐敗紊亂して居るかゞ窺はれるのであつて洵に眉を顰めずには居られないのである。

更らにこの遊興費を娼妓揚代金、酒肴代金、藝妓揚代金の三種に分ち、娼妓揚代金を娼妓所得と貸座敷營業者所得の二に、また酒肴代金を貸座敷營業者所得と引手茶屋所得とに細別して見ると次の如くてある。

○娼妓揚代金

——單位圓——

種別	大正六年	同五年	同四年
娼妓所得	一〇・〇二六・一八九	七・三二四・八九二	六・一四四・五八五
貸座敷營業者所得	一四・一七六・二六七	一〇・六四三・五八七	八・八四三・一一五

○酒肴代金

——單位圓——

種別	大正六年	同五年	同四年
貸座敷營業者所得	一四・二八九・二七六	一〇・三二四・七八二	九・〇〇六・四七六
引手茶屋所得	四八三・四五一	三〇四・七四一	二五一・三三九

○藝妓揚代金

大正六年	九・六三〇・七八六圓
同五年	九・五一〇・六七六圓
同四年	六・四九七・六五九圓

歐大陸諸國が戰禍に惱んで居る時、我が國の社會では斯くの如く上下を擧げて益々淫蕩に墮して來たのであるが、戰禍も漸く歇まり我が國の濟界が浮ッ調子の極に達した時即ち大正七年末の狀態は何うてあつたかといふに、その浪費高に於ては一層甚だしい數字を現はして居るのである。これを内務省の十二月末日現在調査に依つて見ると左の如くてある。

貸座敷營業者	一一・六三七人
娼妓	四八・二七八人
藝娼妓兼業者	二六六人
藝妓	五九・一六一人
引手茶屋	一二三軒
貸座敷傭人 男	六・六四六人
貸座敷傭人 女	二〇・七五九人
遊客數	二四・一〇六・一六三人
遊興費總額	一五五・二三三・八三六圓

此の遊興費を細別すれば

娼妓揚代金	娼妓所得	一一・七〇五・八三一圓
娼妓揚代金	貸座敷營業者所得	一一〇・一三六・九四三圓
酒肴代金	貸座敷營業者所得	二〇・一三六・九四三圓
酒肴代金	引手茶屋所得	二・〇三八・四七六圓
藝妓揚代金		一一・二二五・六四三圓

となるのであつて遊興費を前年に比較すれば、實に一億二千四百九十二萬六千六百六十二圓の增加を示して居るのである。此れを見ても、國民が如何に遊蕩に墮して來たかゞ分るてあらう。

何の項を較べて見ても多少づゝの增加を示して居るのであるが、使用者の增加は從屬的なものであるからして、之れは別として藝妓の數の前年に比して、六千六百九十五人といふ增加は決して良い現象であるとは謂はれない。彼等が社會の良俗を紊る先驅者であることは、今玆に更ためて言ふまでも

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

無いことであるが、その家庭の紊亂者、秩序の破壞者たる藝妓が大正七年には斯くの如く著しく增加したのである。

而して前年まで稍々減少の傾向を示して來た娼妓の數も此の年は四百六十六人增加して居る。憎むべき貸座敷營業者の數も四百人ばかりも增した。抑も此れ等は何を吾人に物語るものであらうか。議會では一國の文教を司る大臣が二枚舌を使つて恬然として居る。大政黨の首領も僅かの金品の提供を受けて之れを珍品と稱して恥ざるが如き有樣だ。其の因由する處は那邊にあるであらうか。社會は競ふて暗黒へ暗黒へと趨くのではあるまいか。

歐洲諸國では戰後の經營に汲々として居る時、我が國では淫蕩の風益々荒み、可憐なる少女達は吸血鬼の爲すがまゝに可惜蕾の花は此等道德的低能兒、痴呆症患者等に依つて蹂躪せられ、犧牲に供せられつゝあるのである。而して隨所に家庭戰爭は繰り返へされ、社會の秩序は愈々紊されてゆくのである。更に私は別表を以て各地方に於けるその犧牲者の分布の狀態を示すことゝ仕様。

道廳及府縣	貸座敷營業者	娼妓數	藝妓	貸座敷備人數 男	貸座敷備人數 女
北海道	五八七	二、五九〇	二、七五九	五九九	四九七
東京	六六〇	五、五八六	七、八九四	二、五五八	五、一五六
京都	二、〇〇三	二、九六二	二、一四六	一四	一、九二五
大阪	一、八二七	六、五五六	五、〇七五	七九四	五、九七五
神奈川	一九二	二、一五七	一、七三五	四二	五六四
兵庫	三二一	二、五三七	五、五六二	五四四	五五六
長崎	二四	二、五三九	八四五	一〇三	四六八
新潟	五八八	一、四二二	二、四一四	一〇	五八五
埼玉	二〇	一二七	四五五	四二	二五
群馬			九八九		
千葉	三一	三五八	五六〇	八	九三
茨城	四〇	一七六	三二四	六五	五八
栃木	一〇〇	六〇五	九一三	二六	三五六
奈良	六五	四九八	二二五	一	一五六
三重	五八	一、四九三	九七二	七	七七
愛知	二四二	二、一七七	五、七二五	二六	一、四六〇
静岡	一〇六	七〇七	一、四七四	七〇	三二
山梨	一三	一九〇	二四〇	八〇	五七
滋賀	二〇五	二九二	四五三	一	二二
岐阜	一〇五	七二三	一、一六六	一四	三二三
長野	一四五	八四〇	二、六四七	一七九	一五八
宮城	五七	四〇五	二二〇	一五八	一五九
福島	一二八	五六五	一、一一七	二五五	五五〇
岩手	九三	三二四	三一二	六八	一〇五
青森	一四五	四九八	五〇四	六六	三二
山形	一七〇	七〇二	四六一	八三	四六
秋田	六八	二五三	五五六	二九	八九
福井	二一〇	五二二	七六一		一二五
石川	四七〇	三五五	一、六五七		三五五
富山	二九二	四一七	一、五〇九	二四	二四二
鳥取	六二	一四〇	三〇〇		八六
島根	五八	六一	七二〇		一五八
岡山	一九〇	六二〇	六一四	一	二五九
廣島	四三	二、〇一三	一、三三三	六八	三五八
山口	二五六	九六二	一、五一五	三五	二四七
和歌山	一九	一四五	七八〇	一九	二二

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

道廳及府縣	貸座敷營業者	娼妓數	藝妓	貸座敷傭人數 男	貸座敷傭人數 女
德島	八八	一八八	四八五		二
香川	三	四二三	三五九	一	一三五
愛媛	四八	一四九	一、二九一	一	六三
高知	四四	四二一	六八三	七	二七
福岡	一八九	二、〇〇二	一、九九一	一五	六九六
大分	六五	三六七	四〇三	二	一一五
佐賀	八七	三五八	三五一		六五
熊本	九二	八九七	四三七	三六	二〇
宮崎	一四	一九四	四二一	八	八二
鹿兒島	一三	三四〇	三六三	三	三五
沖繩	六〇七	一、〇三〇	一四四		二四〇
合計	二、〇〇七	四八、二七八	三五、九一六	六、六四六	二〇、七五九

此の外に藝娼妓兼業者は長崎五十二人、岩手三人、福井六人、鳥取二十六人、岡山七人、廣島六十三人、山口五十五人、香川二十五人、愛媛二十一人、佐賀四人、鹿兒島四人にて、引手茶屋は東京八十三、神奈川十、兵庫二、千葉十、茨城十三、静岡五てあつて、各地方とも淫蕩の風に染みて居ることに異りはなく、藝妓の少ない土地には娼妓が多く、娼妓の少ない地方は藝妓が多いのであるが、藝娼妓何れの數から見ても、東京と大阪は東西の兩雄である。一つは文化の中心であり一つは商業の中心であつて我が國の二大都市であるが此の點に於ても亦二重鎭をなして居るのであつて、我が國の代表的都市の數字上に表はれたる現況は實に此くの如き狀態にあるのである。

我が國に古くから使用せられて居る辭の中に、待合政策というのがある。それは曾つて桂公が南北朝正閏問題でやつたばかりではなく、我が國の政治は中央と言はず地方と謂はず恒に恁ふ云ふ場所で行はれて來て居るのであつて、其處で或は内閣も成立すれば内閣の瓦解交迭も議せられ、或は贈收賄事件も發生して來たのであつた。小さな地方の利權獲得の策源地が待合であれば、亦最近問題にされて居る東京市の瓦斯水道といふ樣な問題も悉く此處に發芽して居るのであつて商人が暴利を貪る機會も個人の家庭の亂される端緒も擧げ來たれば實に枚擧に遑ない程の社會の罪惡の殆んど全部は、皆此の待合であるとか貸座敷に依つて産み出されて居るのである。

然かも叙上の如くそれ等犯罪養生所が益々殖えつゝあるといふことは識者は倶に考慮を廻らさねばならぬ事であり、世の改造論者達も決して此れを等閑視することの能きない事實であると思ふ。人の子を吸血鬼の犧牲に供へておいて、此の問題の解決が等閑視せらるゝならば、それは永久に向つて社會の幸福でもなければ、人類永遠の福祉でもない依然として秩序は亓處に紊され康寧は其處に破られ、社會は何時までも惑亂と煩悶の境域から脫出することは能きないことゝなるであらう。如何に社會の改造は唱道せられてもそれは單に蓄音機が機械的に鳴らされるのと同じ事で、改造の實蹟は到底擧げ得られるものではなからうと思ふ。亓處で社會改造の階梯としても、怎うしても此の問題は識者の間に尤も眞面目に攻究せられなければならぬ事であると思ふのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

勞働運動と人生問題（四）

辯護士　布施辰治

而して彼の衣食足つて禮節を知ると云ふ事が半面の眞理として廣く古今に通ずる格言だとしたら生活問題は思想問題の基調を成すと言ひ得よう、換言すれば、思想問題は生活問題から湧いて出るのである。生活問題に關係の無い思想問題が泉の如く湧いて出て、之れが生活問題の大川に入ると云ふ譯のものではない。事ろ生活問題に對する壓迫を根本の基調として、之れに對する方策の取り方を批評する所に種々の思想問題が湧いて出て、更らに再び生活問題に歸つて經濟革命を要求せしむると云ふ事に爲つて來て居るのではあるまいか。私は先に、生活難は總ての問題の始點であると同時に生活問題の解決は總ての問題の終點であると云ふたのであるが、現實の生活に苦しむと云ふ事が總ての問題の初であつて、生活難から脫却する生活安定の考察こそは總ての問題の終りである。而して、生活問題の始と解決の終りとを考察する事が思想の問題である。どうかしなければならないと云ふ行き詰つた生活難を私共に投げ與へられたるものが腕一本頭一ツの働きに由りて、其日を活きて行かなければならない者に切迫した問題である。何故なら、人は麪麭のみにて生きるものではないと言ふが、又麪麭無くして生きられないのが私共の人生である、肉に生んが爲には食はなければならない而して食ふ爲には食ふ丈けの資料が必要である。

十一　勞務收入と無產者

偖て、然らば私共が現在生きて行く爲に、どれだけの生活資料を必要とするかと云ふに、生理學上醫學上、一日少くも三千カロリーの營養分を攝取しなければ其日の生活を維持して行く事が出來ないとすれば、其日の生活に消費する丈けの「カロリー」を補ふて行く事の出來ない限り生の死滅を見るばかりである、消費する丈けの補ひが附かない私共の生命は、常に其の生命を擦り耗らさるゝばかりである。故に、苟くも生きて行かうとするものは、其日の生活に消費する丈けの補ひを附けて行かなければならない、而已ならず、人間の發達期に於ては、其日の生活に消費せらるゝ丈けの補ひを附ける外に、其の發達を助ける丈けのカロリーが必要である。若し一日の生活に消費するカロリーが三千であるならば、三千五百のカロリーを要求して消費せらるゝ三千カロリーを補ふと同時に、之を發達に導いて行くところの營養をあてがはなければならない。又更に相當の發達を遂げた體質の上から云へば、人間はダン／＼衰へて行くのであるから、此の衰へを防ぐ爲にも三千カロリーが一日の生活に消費せらるゝ定量ならば、其定量を補ふと共に、自然に衰へて行く體量を維持するだけの餘計なカロリーを給與しなければならない。

内務省に於ては特に食糧問題の研究上佐伯、永井兩博士の名で小冊子を發行し私共に教へるところがあつた。矢張り其の目的も亦間違つて居るのであらう。彼等は曰く、私共の取るべき食料の選擇は、今日迄私共の使用し來りたる食糧以外の他物から之れだけのカロリーが取れるとか、或は之れ等のものから取つた一定量のカロリーに依つて私共の生命は維持されるのであると云ふのであるが、私は左樣云ふ意味に於て、此本を讀んでは

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

居らない。又左樣云ふやうな消極的諦め主義の宣傳に從つて居るのでは、人生の向上、進化創造を遂ぐる事が出來ない。私共は只此の本の中から科學の原理として、私共はどれ丈けのカロリーを以て一日の生命を支へて行く事が出來るのであるかと云ふ事を知れば足りる、又それ丈けのものがなかつたならば、私共の生命が支へ得られないと云ふ事を知れば良ろしい。生命の維持に必要なる一定量のカロリーを補給せられない私共の生命は、それ丈け骨を削られるのであり、肉を殺がれるのであつて、遂には死滅するのであると云ふ事に於て、長かるべき生命は短く果てねてならない事を知れば良ろしい。そこで私は、先づ之れ丈けのカロリーが必要だとして生活必須のカロリーを營養するには、それ丈けのものが無ければならないとする、而して、それ丈けのものを得るにはどうすれば可いかと云ふに、物資經濟の許されて居つた時ならばそれ丈けのものをどうかして得ると云ふ事に努めるのである。遊牧の時代に於て水草を追ふものは、其の生活に必要な丈け自足自給すれば宜しいのである、けれども、水草を追ふて自給自足する事の出來ない時代に於ては、他給自足せられなければならない、夫れも相互に必要だと云ふ主觀的價値の上から物資の交換が行はれて、あなたが斯う云ふ物をお持ちなさうだが、私には斯う云ふ餘計な物があるからと云ふやうな具合に換へて貰つてお互の必要と必要とが其の要を充たし合はされた物々交換の時代ならば、多くの論は無い。處が、今日は所謂自給自足や、物々交換の時代を超へた、所謂金錢經濟の時代である、生活上必須のカロリーを營養するには或る物がなければならぬ、而して其の或物を得るには金がなければならない、而かも私共は、常に生活を維持し行くに必要な金を生れながらに持つことが出來るかと云へばそれは出來得ない、出來る者は所謂資本家と稱する金錢の蓄積に巧みであつた者、或は巧みであつた者の後を承繼して居る者のみに限られて居る、資本家でない勞務收入者腕一本頭一ツの働きに依つて生活する私共は、生活に必要な丈けの物を買ふ爲の金を取る爲に、工賃を貰はなければならない。約めて言へば、金が無ければ生きられないと云ふ事に爲るのである。

十二　同盟罷業の切實味

之を要するに、勞働問題中の勞働問題である同盟罷業を以て、勞働條件對價的改善を資本家に要求する所以は、金がなければ生きられないからである。生きるに必要な金を取る爲には、死ぬだけ働かなければならないからである。働いて死ぬか食はないで死ぬかと云ふ「ヂレンマ」にかけられて居るのが勞働者生活難の實狀だからである。生きる爲には食はねばならず、喰ふ爲には死ぬ迄働かなければ一日を支ふる丈けの收入が得られないからである。死ぬ迄働いて野倒れ死するか初から働かないで餓死するかと云ふ所迄差迫つて居るのが、勞働者收入今日の生活狀態だからである。茲に工賃と勞働時間との關係が出て來るのであるが、更らに、通俗に約言すれば、假りて私共一日の生命を支ふる爲には、金錢經濟の物價の振合から見て、一日二圓を要するとする而かも私共の勞働賃銀が一時間二十錢なら十時間働かなければ一日の生命を維持する二圓の金が取れない。然るに二

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

圓の金を取る爲に働く一日十時間の勞働は、私共の體力を維持する所以でないが、體力の强健と云ふ資本を持つて居るものは、それを消耗し盡さない一ヶ月二ヶ月或は其の衰へ切らない一年二年の間、辛く繼續の出來る事である。茲に勞働八時間制の主張があるのであると同時に、勞働時間を八時間に縮めると、一時間二十錢の工賃は八時間僅かに一圓六十錢であるから、一圓六十錢の工賃では其日を生きて行くだけの費用に足りない。さればと云ふて辛ふやくに生きて行ける二圓の工賃を得やうとして十時間宛働けば、遂に長く激しい勞働に堪へ得ない野倒死の結果を見ると云ふ問題があるのである。之れ蓋し、勞働條件の對價的改善を要求して容れられない同盟罷業に眞劒味を加ふる所以であつて食ふだけの金を取る爲には野倒死する迄働かなければならず、野倒死する迄働くのが厭だと云ふて、働く時間を手控へれば、食ふ丈けの金を得られないと云ふ所から、工賃の値上げと時間短縮の問題とを絡み合せた勞働條件の對價的改善要求は、茲に一種の渦卷を起して居るのである。

此の如うに考へて來ると、不祥なる同盟罷業の勞働爭議を餘儀なくせしむるものは、勞働者の生活實狀であると云ふ事に爲るのであらう。苟くも、生命の貴とさに眼覺めて勞働神聖を叫ばんとする者は、自ら身を殺すか、或は悲慘な勞働狀態に虐げられて死ぬかと云ふ死に當面せしめられて居るのである。而かも戰はずしての死は、當然の死、必然の運命であるが、戰に敗れて死ぬ、勝つて死の血路を開き得るかと云ふ事に爲ると、誰でも戰つて見る氣に爲るのが所謂同盟罷業と言ひ得よう。勞働運動と人生問題の交渉は實に茲に在るのであつて、そして、命懸けの眞劒味に滿ちた同盟罷業の行はるゝ所以である事を一般の諒解に訴へたい。

十三 悲慘なる勞働狀態

其處で、私は、今日の勞働者の勞働狀態に就て、私の見る所を述べたいのであるが、勞働者の勞働狀態は、自ら好きな適材を適所に置くものであると言ひ得ない、從つて所謂勞働の眞意義に背いて居る。と同時に勞働者の生活狀態は、人生の眞意義に遠ざかること極めて甚しい勞働は神聖なりとの意に背く事の如何に大なるかは、固より云ふまでも無い。今日の勞働者に人生の眞意義を完うすべき生活がない、又更らに、靈の安心を認める事が出來ない、勞働者の勞働狀態は、自らの適材を適所に置くものとしての職業を選んで居るのではない。實を言へばモウ少し勉強して他の職業をと望んでも左樣した職業に就く事が出來ず、相當の考案を立てゝ或種の事業をやつて見たいと思ふても、夫れに就く事が出來ない結果、望んで已まざるところの職業に就く事が出來ない爲に、餘儀なくも現在の智識程度、現在の修養範圍に於て、天の惠てある體力を役立たせる丈けの職業に從事して居るのである。つまりは、人間を潰しにして其の體力を賣りつゝあるのが私共の勞働狀態である。何故なら、敎育と勞働との關係の重大なる事は、敎育の無い者が職を求むる場合を考へて見れば能く分かる、敎育のある者と敎育の無い者とが、或る一ッの職を求めて履歴書を出すと、敎育のある者は割合に樂な職業を與へられる、が敎育の無い人間は樂な

職業の口を求むることが出來ない、況んや、淘汰されたものは何處かに浪々として流れて行かなければならない。そして再び就職口を探しても、多少教育の上の者が容易に就職口を得て、教育の不十分な者はドンヅマリの所へ行かなければ就職口を得られない、而して今日の勞働者が或る種の勞働に服して居る狀態は、其の總てを擧げて然りてあると言ひ得よう砲兵工廠に行くものは、初めから砲兵工廠に入る事を望んて砲兵工廠に職を求めた譯てはない。電車の車掌運轉手迚も又然りてあれば今日の警察官も亦さうてある。初めから警察官たるべく望んて警察官になつて居る者があるかと云ふに決してそうてない多くは他の優良なる職を求めて得られなかつたか或る事業の經營を目論ても之を果す事が出來なかつたかした結果てある。或る者はマア〳〵砲兵工廠にても入つて見やうと云ふて砲兵工廠に入り、或る者は電車の車掌なり運轉手なり警察官なりに爲つて他に優良な職業の見附かる迄の腰掛として居るのてある。私は斯く云へば迚、決して職工や車掌運轉手や警官を惡るく云ふのてはない

只今日の待遇が眞に之を適材とする者に相當して居ないから假りに斯く云ふが、其の他の職業たる人夫の如き車夫の如き何時迄も浪々の激務に滿足して居るとは思はれない、多くは自らの適材を置くべき適所を求めて得られざるの結果の職業に就て居る者が非常に多い、遊んて居ては食へないから何所の工場へても通つて見たらと云ふので、工場勞働者と爲つて居るものもあれば、しばらく手傳つて見て呉れと云ふ依賴で商賣を手傳ふものもあると云ふ如うなのが、私共今日一般の職業狀態である、自分の適材を發揮すべき適所を求め得た職業に從事して居る者は殆んど無いと云ふても宜しい。斯くの如き狀態に置かれて居る勞働者の勞働が、どうして神聖だと謂ひ得よう、私は斯うした私共無產者の勞働狀態を馴致したものは、國家制度の不完全にありと考へて居る、或る者は勞働者が好んて陷れる迷路てあると言ふかも知れない、或者は思慮無くして行詰れる勞働者の自業自得であると言ふかも知れない、けれども私はさう思はない、國家が總ての人を公平に教育して、各自の天分を自由に發揮せし

めて呉れないからだと思ふて居る。決して勞働者の好んて迷ひ込んだ行詰りてはない、が、夫れは兎も角、私共無產者今日の勞働狀態が、勞働の神聖に背いて居るものであると云ふ事は申す迄もない、故に斯うした悲慘な勞働狀態から脫却したいと云ふ勞働條件改善の思潮が芽んで來たのであるとしたら、私共の大なる喜びを以て迎ふべきてあらう、萬一にも迷ひ込んだ墮落の底に安心し、滿足して居る勞働者があつたら、之れこそ眞に嘆かざるを得ない。墮落の底から這ひ上る事が出來なくとも飛び上る事が出來なくとも這ひ上る飛び上ると云ふ望みを起てた丈けでも之を助けてやらなければならぬと思ふ。果して然らば、所謂奴隷の境遇に突き落された勞働者が、勞働條件の改善を叫ぶと云ふ事は全く善い事てある。況んや斯の如く勞働狀態の勞働神聖に背いて居るばかりか厭な好まない一時の腰掛的職業すらも奪はれ勝ちてあると云ふ失職の不安に怯へしめられて居るから一層厭はしい、厭な職業だ、好んて就いた職業でないと云ふ事に於て、勞働者自ら之を去らうとすれば去る事が非常に幸

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

禍である、又、それを去る事に努めなければならぬ筈である。天分を發揮する適所が社會の何所かに置かれて居る他に良い職業を見附けて厭な好まない現在の職業を去ると云ふ事は當然に急がねばならぬ事であらう。然るに何時迄も適材を發揮する適所の職業を見附け得ない爲に、厭な好まない現在の職業をシッカリと握つて居らなければ食ふ事が出來ないと云ふのが私共無産者現在の勞働狀態である。而かも厭な職業に就て居る事に對してお氣の毒だと云ふ取扱を受けて居るならば未だしも、尙ほ且つ厭ならば何時でも罷めて呉れ、罷めたらお前等は食ふ事が出來ないであらう。食ふ事の出來ないと云ふ事に較べたら職業の厭や應などは第二次の問題ではないかと云ふ失職を脅かされて居る今日の狀態は、實に何とも言へない失職の不安である。今日の勞働者は、其の就職に何等の保障をも得て居らない。之は官吏も同樣である。裁判官は終身就職を保障されて居ると云ふが何時馘られるか分らないと云ふ不安に怯えて居る。況んや勞働者失職の不安に到りては、到底官吏失職の不安と較べものにならないほど、まだ〳〵不安である。何時罷めさせられるか分からぬ。就職の時には六ケしい條件の下に散々探し歩いて、辛くに有り附く事の出來た職業が、之を失はしむると云ふ時に當りては、郵便一通葉書一枚の馘首である。或は葉書も郵便も出さずお前は馘つたと云ふ一言の下に之を馘る事が出來るのである。大勢の勞働者を集めて解雇の宣告をすれば、一人に對する一言處か百人千人に對する一言の宣言で失職せしめられるのである、其位不安な狀態に爲つて居るのが私共無産者の勞働狀態である。故に斯うした失職の不安と云ふ事に怯へない勞働者が無い。（了）

不幸な彼女等の生活

通般來東京市社會局では、市内及び市隣接町村に散在する四百九十四の工場に就いて、女工の生活狀態を調査中であつたが、其の結果は去る十一日發表された。それに依ると、女工千七百六十一人中

兩親の有る者	九百十四人
片親の無い者	五百二十二人
兩親の無い者	二百八十四人

であつて、更らに私共の看過することの出來ないことは、兩親の行衞不明なれ、實母のない者、繼母、繼父を持つ者、兩親の一方が失踪して分らないといふ可憐なもの尠なくないのであつて、その數を合せると實に八百十二人といふ多數算えられて居るのである。

而して彼等の敎育程度に至つては、彼の女等が如何に不幸な境遇に置かれて居るかを最もよく解る。

高等小學卒業	百二十七人
尋常卒業者	五百九十四人
四年修業者	三百十六人
無就學者	百十二人
高等女學校卒業者	三人
高女中途退學者	十三人

といふ樣な具合で、また彼女が女工になつた動機に就いては、家計困難の爲めといふのが最も多く、次は嫁入仕度をするためといふのと、勉强をする爲めといふのだそうて、尙ほ女工の夜勤に對する感想は

夜勤を好む者	二百六十三人
絕對反對の者	二百十二人
（家庭の事情のため）	
健康を害する故反對	百六十九人
歸途が恐しいとて反對	二百十二人

といふので、總計八百五十人餘といふ者は夜業の反對者を占めて居たといふことである。

女工の希望としては、夜間を自由行動にして欲しいとか、勞働歩合が欲しいとか、食物を改善して欲しいといふのや、夜間は空氣が冷却するから冷えない設備をして欲しいといふやうなので、寄宿舍の女工は現在一人當り一疊とか一疊半では餘り狹いから廣くして欲しいと希望して居るとのことである。

そして彼女等の給料は化學工場の例を採ると、最高卅一圓最低十一圓平均二十二圓六十錢であつて、此の賃金が女工側の報告と工場側の報告と日給十錢內外の相違があると云ふ事であるが、それはそれ丈け少なく女工に支拂はれて居るのではなからうかと

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

家庭に於ける女子の改造

水津千雲

○日本古來の女子教育としては良妻賢母と謂ふ主義のもとに女子を教育して來て居るが、その良妻賢母といふことは單に妻としての理想を實現し、亦母としての理想を實現するといふこと丈けの意味ではない樣に思つて居る。若し之れを文字通りに、單に妻であるとか母であるとか云ふ丈けに止まつて居るとすると家庭に缺陷を生じて來るといふことを吾々は過去に於て經驗したのである。

然し良妻賢母といふことは、さういふ家庭に缺陷を生ずべき筈ではない筈であるのに夫れが餘まりに文字通りに解釋される爲めに、家庭に缺陷を生ずる樣にな、つたのであらうと思ふ。若し此標語を改めさする事が能きるなら、良妻賢母の外に猶ほ女子としての天分を恒に忘れない樣にする事が必要だらうと思ふ。即ち良妻賢母淑女主義である。家庭の缺陷といふものは此の女子といふことを忘れて居るといふことに在るのであつて、开ういふ婦人が世間に多くはなからうかと思ふ。

素より良妻賢母となるのは女子でなくては能きないのであるが、妻として充分研究しまたそれを實踐躬行するといふ場合に、家庭の主婦として立派に出來上る時に、亦母として立派なものが出來上る時に、結婚當時に於ける女子といふ氣分は、良妻となり賢母となつた時は、その爲氣分が消滅して往く樣に觀える。そのめに男子は、男性的氣分を發揮し樣としても、良妻賢母があつても結婚當時に於ける非常な男性をして吸引する力を有する女性たる氣分が、妻とか母たる氣分の爲めに消滅し無いまでも、幾らか衰へて來て居る樣に思はれる。

○故に他動性である、男子は、異性を慕ふ爲めに家庭に其の異性を求むる事が能きないから、遂ひに家庭を離れて賤業婦を要求するとか、或は俳優を弄ぶとか云ふ樣な結果を生じて來る樣に思はれる。それも全く無教育な理性の低い男子は別として、高等の教育を受けた所謂紳士として恥かしからぬ人々の家庭にあつて、男子が直ちにその賤業婦や或は俳優等を弄ぶ事が能きないから、酒に依つて自己の良心を痲痺せしめて關係を結ぶと云ふ樣なことは、隨分經驗して居るところである。此れは家庭に於ける缺陷であつて、其の缺陷は家庭に於ける女子が良妻賢母たる事を眞に自覺したなら、自ら補はれる事と思ふが、多くは母となり或は主婦となると同時に全く處女たる氣分を喪失して仕舞ふか、喪失せぬ迄も減少した結果から來る悲劇であると思ふ。

古來日本の家庭で女子に遊藝を教へたと云ふ事は、時に男性的氣分を調和せしめんが爲めに自ら行はれた事ではなからうかと思ふ。之等のことは尤も微細な問

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

題であつて、多くの男子自身及女子自身も、是等の點に或は氣が付か無い事が多いだらうと思ふが、これは自分としては尤も重要な點だらうと思ふ。女子教育家は此れ等の點にも意を用ゐて、學校時代も教育する事が必要ではなからうか。不幸にして自分は女子教育に從事した經驗は無いが、教育せられた女子が家庭に入つて失敗して居る事は澤山に經驗して居るのである。

○

然らば女子教育を如何にするかとその方法を問はれても答ふる事は能きないが女子が家庭の母となり家庭の妻としても女性としての氣分を全く失つて居る夫人を見ることは、自分計りでなく更らに多くの人の經驗して居る所であらうと思ふ。此れは女性の氣分を發揮すると云ふ事には經濟的關係もあらうし、或は家庭の種々の事情が之れに纒綿して居るのであるから、婦人は此の點に關して多大の力を注がなくては理想的のものは中々得られ無い事と思ふ。

自分は會つた事も見た事も無いが、與謝野明子と云ふ人は非常な學者でもあるし、亦澤山な子供もあつて母としても立派な人だと云ふ事も聞いて居る。鳩山春子と云ふ人も家庭には子供を立派に教育し、夫を佐けて内外共に盡されたと謂ふ點は先良妻賢母の中に這入るが、此等の人々の常に一方に女性的氣分が顯はれて居るか恁うか、自分は會つた事も見た事も無いから解らないが、恁うい ふ式に出來上つて行けば或は宜からうと思ふ。要は良妻となり賢母となつて、更らに其の上に處女的氣分を失はない淑女として修養して行くことが、恒に家庭の圓滿を計る理想であらうと思ふ。

近來女子と男子を教育する上に同一步調に於てすると云ふ事を主張する人もある樣であるが、自分としては徹頭徹尾明かに之れは區別して教育せねばならぬと思ふ。何故ならば、男子と女子とは其の形體的に亦精神的に明かに差別のある事だから、また我々の肉體を組織する細胞は、細胞一ヶに於て自己を永久に生存せしめて居るけれども、男子と女子とは此の二ツが融合しなければ自己を永久に生存せしめる事は能きないのである。然らば男性と女性とは離るゝ事の能きないものである以上、理科的原則に依つて各異性を同性ならしめない樣にしなければ、同性相反する樣になつたら夫れが家庭の平和を傷つけ、延いては生兒の減少を來して國家の衰亡と云ふ事を惹き起すのである。

故に良妻賢母の他に、女子は女として の所謂處女的氣分を恒に失はないやうにしてゆくことが、卽ち淑女主義を保つと云ふことが尤も大切なことであらうと思ふ。

紹介所に集ふ若主婦

芝淺草小石川三區を除く各區役所でゝ無料職業紹介所を開いて居るが、本鄉區役所では需要者も申込者も女が多く恰も婦人專門の樣な形であるといふことであるが、中には女學校の卒業生が家計補助の爲めに働くのもあるが、殆んど半數は俸給生活者の若妻君で、共稼ぎの爲めに來るのが非常に多いといふ事であつて、生活難の渦捲は如何に大きく社會を取捲いて居るかゞ窺はれるといふことである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

謎の世界吉原日記（二）

前某驅黴院看護婦　田口和子

六月十七日（火曜日）

日本の所謂識者なるもの丶沒分曉なのにもホト〳〵呆れるが、恰度今日私は淺草郵便局まで行つての歸り途、公園の中を通つて見た。

觀音堂には靈の拔けた空ツポな人達（所謂善男善女と唱ふる）が何時も變らず無數に集まつて居る。私は觀音様の前から木の間を縫ふて人通りの比較的少ない靜かな方へと歩ながら、其の昔基督がエルサレムのお宮で、頽廢しきつた當時のユダヤ人の心の内に、大きな力を現はし給ふた有樣などをそれから〳〵と考え、此の觀音堂へも基督のやうな人格者が顯はれて、古き誤まれる思想に飽き〳〵して茬いて居るところの人々を滿足させて吳れる丈けの熱した耗を高調してくれゝば良いなど丶思ひつゝ歩いて居ると、戰後の日本だの、聖誕記念だのと大きな立看板の出してある洋風の建物のところへ出た。

『教會かしら？』と思つて中を見れば、觀音の像が祭つてある――佛教の傳道館なのだと始めて解つた。今日は弘法大師の誕生日てあるといふことも分つた。人の言ふことも聽かないで吉原などへ這入つた私は、今では土地不案内のために教會堂の在り場所さへも知らないので、初めては此所にても這入つて、靈を養はふと歸刻時間までを此所に過ぐしたのであつた。

洋服姿に錦地の長い妙なものを首にかけた御方が、何んだか婦人畫報にでも載つて居そうなやうなことを言ふので、何んとなく、物足りないやうな、氣の毒なやうな寂しいやうな心地がした。それは支那に子供寶といつて或る老婆が貧しい人の赤ン坊を集めておき、市場に出して金と引き替えにするのだといふことであるが、斯麼野蕃な風習が依然として一部にでも殘つて居る以上、支那は仲々に國狀を改めることは能きない。といふやうなことをお仰つて居らつしたが、吾が國否極く近い淺草の中にも斯麼ところのあるのを御存じないのかしら、此の通りなのだから日本の風習も容易に改められないのだらう。眞實に心細いことだと思はずには居られなかつた。

六月十八日（水曜日）

用達しに出かけて山谷の停留場（遊廓前）から電車を降りた物好きな私は、山谷の停留場から遊廓までの間にある料理屋と酒場の數を算えて見た。始めのうちは一ツ二ツと數えて居たのだけれど、あの僅かな通りのうちに二十四軒まであることは數えたが仲の町通りに出た時、廓内では珍らしくもないが、ビールのなゞ飲みをしたとかで三十位の男を二人の巡査が捕えて、日本堤署の方へ引つ立てゝゆくので、彌次馬とかふ暇人が澤山にゾロ〳〵と、その周圍を取り卷いてゆくのに出會つたので、忽ちに勘定を忘れて仕舞つたが、自分の物好き屋にも思はず噴出さずには居られなかつた。

然し物好き屋は、強ち私丈けではないと見えて、醉つた振りして人の後をつけて病院の門までも來て、守衛に『此の馬鹿野耶！』とお目玉を頂戴した男も、たいがいな物好屋だ却說も何處までも物騷に出來上つて居るところだ。

六月十九日（木曜日）

Y様と三業事務所の二階（檢查場）へゆく、この前へに來た時は雨が降つて居たので、幌を下ろした俥屋が此處檢查場へ來る前に、皆一々前の村山醫院に續いたところの新吉原外來診察所といふ看板のかゝつた家へ引き込んだ。多分はそうだらうとは思つたが、

『れえ、あの人達ちは何故皆直接此處まで來ないで彼處え這入つちやうの？』と訊けば

『あれは外來病院と言つて、娼妓が此處え來る前に用心といつて下檢查をするのですよ、あんな事をして殆んど娼妓のお陰で立つて居る病院が此の仲之町筋だけでも、まだ他に三四軒もあるのですよ、彼麼なまじない見たやうなことをしても、入院する者は矢ツ張り入院するから何んにもなりやしないんだけれど』と熱心に話して下さる。

て私も今まで居た所の遊廓でこれに似通つた『外來病院て診た時には大丈夫だと言はれたのに入院した。』と言つてはよく娼妓の怨嗟を聞いたことがあるが、何處にも同じやうなことのあるものだ。

今日は天氣もよいので、直下に見える花園公園（吉原公園）に朝早くから、餘程用無しが多いと見えて、彼方のベンチにも此方のベンチにも池に架つた橋のやうに、腰をかけて卷煙草を吹かして居る群がある。向ふの方を見れば、キヤツ〳〵と赤い腰卷もあらはに、鬼ごつこをして居る遊女の群も

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

あつて、その中に飛び込んで得意がつて居る鼻下長の男達もある。かと思へばまた、樓内から娼妓に案内させて、しやなり／＼と歩む娼妓の後から恐る／＼お供をして公園に這入つて來る若者もある。

その内、お供の群は公園の中央にある小池の橋を渡り、突き當りの岩穴え祭つてある狐堂の前に立つたが流石にあの玩具のやうな偶像に向つては手が合はされぬと見えて、橋の袂に寄つて來る金魚の相手をしてゐた。その間に娼妓達は何を願むのか知らないが、あの狐堂へ手を合せて一生懸命に三拜九拜して居た、何んてもあゝして拜むのは『何卒ぞ檢査に取られませぬ樣に、澤山金を貢ふお客が來ますやうに』と祈るのだといふことである。とんだ願ひを聞く神樣もあるものだ。

六月二十日（金曜日）

治療室の隅の方で日記を書いて居ると、急患が出來たので這入つて來た當直の人達は『まあ隨分勉强家ねえ……』と、私は全く噴き出したかつた。けれどよく考へれば罪を犯しておる樣にも泌み／＼思つた。だつて私の書いて居る日記は皆さんに採つては同樣なのだから。然かしこれも正義の爲めであり社會のためなのだからと考へ直して切めてもの罪ほろぼしに、『假令職員の方々に對して亂暴な辭があつたとしても、それは個人として攻める爲めの辭ではなく、社會のためなのですからお赦し下さい』と心竊かにお詫を申上げたのであつた。

私の臺の受持醫員―Ｓ先生―以前洲崎病院にお出ての時は何んだか恐はい樣に感じたお方だけれど、斯うして一緒に居て見ると快活で面白い先生である。けれどと口の惡い患者達は『異人の奴（一見西洋人の樣な方であるから）』が、また頑固に藥を付けやがつた』なんて亂暴な言をいつて、お醫などは少こしだつて知つては居ない。それは少こしは頑固かも知れないけれど言ふ方が無理だ、何も先生ばかりではないのだもの、

三百からの入院患者を五臺――梅毒科、軟科（軟性下疳症）一號二號臺、淋科（淋毒性疾患者）一號二號臺、其他にも外科はあるが殆んど橫暴手術者で、三十名内外、又内科患者は平均して日に五六十名あるが、之れ等は皆入院中自覺併發する者ばかりであるから、診察者の内には、敬えない――に分ち普通午前十時半頃からお濟までに沒爭的に濟ますのであるから、落ちなくといふのは願ふ方が無理で、其の多くは只だお役目的で機械的に手を動かして居るのだから、到底もそれはお話にも何んにもなつたものではない。

殊に檢査など〻來たら一層甚だしい。一日平均二百六七十人（二千名近い娼妓を一週間に割りあてゝあるのだから）を午前十一時頃から始めて、矢張り正午頃までには濟ますのであるから、その亂暴さ加減は呆れるのほかはない。地方の遊廓と比べて見て、決して鄙だからとて優つては居らない、此れでも行き屆いた檢黴の方法と言へるだらうか。これで花柳病の豫防が出來ると思ふのは大きな間違ひてはあるまいかしら。

六月二十一日（土曜日）

昨日入院して來た新勢樓の谷川さん、ほんとにそれは綺麗な可愛らしいお顏をして、どうして开麼恐ろしい病氣などがあるかと思はれるやう。それでも矢ッ張り悪性の病氣があるのが事實なので、しかもそれも餘程重いと見えて、先生が

『隨分ひどいんだれ、君幾日位のがれとつた？』

とお訊きになると谷川さんは

『まだ店に出てから一月と經ちませんから、のがれると言つても……』と言ひ澁ぶるので先生は更らに

『ぢや店に出る前からあつた病かい』とお仰れば

『えゝそうですよ、病のあるまゝ健康がおりたもんですから……』と、患者は臺の上で微笑ひながら一向平氣な顏付きでお答へしたのであつた。

其處で私は、檢黴上に二つの陰れた缺點のあることを見出したのである。それは苟くも檢査醫なる者が、御自身が『幾日位のがれて居たか』など〻平氣てお訊になるのは、詮じ詰めて考えて見ると、その人達が檢査場で彼女等を御診察なさる時、輕いものは見逃してやるのだとお仰つたのも同全てはあるまいかと考へられるのである。それから病のあるまゝのものを、健康者として證明をして居るといふことは、檢黴制度に如何に多くの缺點があつて決して完全なものでないといふことの說明ではあるまいか？

しかし此等のことは强ち檢査醫の不眞面目と謂ふをばかりでないやうだ、矢張り地方でも同じやうに、斯うしてやれば樓主や娼妓が喜ぶ、そうすれば功德になる理けだなど〻いふ、とんだ誤まつたお慈悲の心からも來て居るので、娼妓自身に採つては眞實に有難迷惑であり、社會にとつては由々しきことが易す／＼と行はれて居るのである。

現に一昨日かも隣の臺の患者に『健康が下る時、先生は直きに入院させられる積りで居れと言はれたから仕方ないけど……』と諦めたやうな怨みのやうなことを聞かされたが、また他の患者からも

『私も何遍かのがれ／＼て養生しましたのよ、でもれえやう／＼治りかけると他の人に檢査にのがれたお祝ひだといつて、天麩羅や生ま魚を其はせられるもんですから、遂う／＼こんなヒドクなりましたわ』と聞かされたので、

『檢査に逃がれると何故お祝をするの？』

と尋ねると、

『だつて一晩でも樓て働きや、五六圓から十圓にもなるんですもの、それが入院すれば借金は殖えるし、辛氣臭いし到底も較べ物にならんですもの、逃がれると皆な大喜びて、おごりつこするんですよ』

と何の屈托もなさそうにペラ／＼と、油紙でも燃えるやうに、それからそれと饒舌る態は、そゞろ涕を催さずには居られなかつたのである。大東京の驅黴院といへば、名前を聞いただけては餘程總べての點に立派なやうにも思はれるのであつたが、來て見ると中々そう想像して居たやうなことはないやうてある。片田舍のそれも殆んど異りはないと言つても差し支へはない程度のものだ。可憐な姉妹達は自分達の身體を堅固な檻の中に縛られて居るばかりてなく、一方には斯うして惡性の病の爲めに次第に生命を縮めつゝあるのであるしかも自らはそれを知らずに居るとは何んといふ悲慘なことてあらうか、そしてその病毒は更らに社會に向つて流されつゝあるのてあつて、遊蕩兒達は自ら病を求めるのてあるから自業自得のやうなものゝ、それを案山子の樣な病院に任せておいて聊かの異算もないと言へるだらうかしら。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

憐れな姉妹の爲めに

植村龍世

啓 ますます婦風事業のために、社會的奉仕を遊ばされ、神の國と人の世との爲に、よき御働きを御進めあそばさるゝをたび／＼承りまして感激いたします。

神意に反抗するいろ／＼なまちがひや、あやまちから、社會の表面に現はれるさま／＼な悲劇に、私はいつでも心をいためます。いろ／＼なかたちで斯うした悲しむべき出來事が常に斷えないのは、どうしたものでございませうか。私は斯うした男女間の貞潔をみだすやうに設けられた厭ふべき、ある制度を破壞しなければならぬことゝ思ひます。いえ、一刻も早く人身賣買をするやうな不潔な此國の耻辱を掃除せねばならぬことゝ存じます。尊貴な生命と靈魂を有つた人間の娘が、牛か馬のやうに金で賣買されるといふことは此國では合理的なことなのでせうか。いえ、種牛や種馬よりも安價に相場されて賣買されてゐるのです。人間が商品になるといふことを此國の法律では公然と認許されてゐるのです。普選といふことや、軍備といふことが、此國の議會では問題として提案されてゐますが、さういふこともせまつた大事なことかもしれません。婦人參政權などのこと、それも大事なことかも知れません。しかし此新聞の、一隅の極く僅かな數行の六號活字のあるかなきかの記事は何でもないことなのでせうか、そうしてどうでもいゝことなのでせうか、此國の多くの娘の父親、娘の母親、妹の兄、妹の姉、そのやうな人々は、どう考へるのでせうか。私は悲しうございます。

どうぞ斯ういふ悲劇を絕滅さするためによき御働きをお祈りいたします。

社會の多くの人達は此の新聞の記事を何う御覽遊ばすでせうか？ 而かも斯ういふ可憐な姉妹達は世の中に數知れぬほど多くあるのではありますまいか？

藝者を厭ひて娘自殺す

四日午前零時頃本郷區湯島金助町七十一、照明器械製造職工加藤[illegible]次郎(四六)の長女ゆう(十六)は自宅八疊の寢床の上にて猫イラズを多量に嚥下し苦悶中家人が發見大騷ぎとなり本富士署に屆出たるより係官出張附近の醫師を招き手當を施せしも、朝九時遂に絕命せり、原因は父が負債の爲めゆうを千葉縣一宮町の某海水旅館の内藝妓にすることゝなり、既に前借五百圓を受取り四日は先方の主人に引渡さるゝことゝなりしを厭ひ、娘心に自殺を遂げたるものと判明せり。』何んといふ悲慘なことでせう誰か此の記事を讀んで泣かぬものがあるでせうか？

大坂支部より

拜啓 別封御送り申候記事は去る一月十五日朝日新聞紙上に記載されしものに候て某氏より社會の暗黒面を憤慨されての餘り寄せられしものに候へば廓清に御轉載下され度御送り申上候。

木辻遊廓表彰式

奈良市木辻遊廓では十五日午前十時から縣立奈良病院に於て九年度優良娼妓五十四名に對し表彰式を擧行す當日組合取締の挨拶、市村警察部長、齋藤衛生課長、武田病院長、杉木署長、佐川市長、東第四小學長等の訓示、演劇等あるべく前記娼妓には賞品として縮緬座蒲團一枚宛を贈呈すべしと(奈良)

酒害に就いて

宮下節男

拜啓 殘寒去り難く御座候處貴會益々御奮闘大賀至極に奉存候

陳者小生過般讀書致居り候處別記の如き酒害に關する統計有之候ひしまゝ御報告申上候

一七〇〇年に夫婦の者が一八七〇年には六代目となつて此の一族初から調べ上ると一二〇〇人の子孫を數へるに至つた其の内を調べて見ると左の通て有る。

一、虚弱の爲に育たなかつた者 三〇〇人
一、成人した者の中殺人犯 七人
一、常習盗人 六〇人
一、其他の犯罪者 一三〇人
一、乞食者 三一〇人
一、不具癈疾者 四〇〇人
一、正當に暮て居る人僅か 二〇人
一、其の二〇人の内一〇人は監獄内て生計の途を覺た者て有る。

政府にて直接間接に此の一族の爲に支出した公費だけ五百萬圓て有る。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯の後

■微温るい風が何處からともなく遣つて來た。花の咲くのは南枝ばかりではなくなつた。當さに春は來たのである。此れから男も女も一枚づゝ上から脫いで、段々産れた時の裸體に近か寄つてゆく、フンぞり反つて歩く男はいよ〳〵直線美を顯はし、屈かんで歩く女は益々曲線美を表はして來る季節が來たのである。

上野を振り出しに、櫻の花は或は飛鳥山に向島に將た亦小金井に荒川に、各その美を競ふて誇ら顏に咲くべき季は來たのである。人々が之れに吸引せられて諸方からその花の下に集ひ、嬌態を演ずることは年中行事の一つで決して珍らしくはないが、相變らず今年も繰り返へされるであらう。

■幾ら陽氣に騷いで見ても、過ちこそ仕出來せ決して瓦いことのあらう筈もないのに、其れを繰へされば氣が濟まぬとは、此處までゆけば人間も馬鹿らしくなる。花を觀るのは瓦いけれど、花に事寄せて亂痴氣騷ぎのあの醜態は決して褒めたものではない。昔から日本には花より團子とかよくいふのであるが、それが唯だの團子なら未だよいが、團子は彼岸團子とかいふて多く佛事に使はれて、花見の團子は开麼な生優しいものではないやうだ。またアルコーリズムな人間に精進料理などで我慢の能きる筈もない。だから世間普通に爲されて居る花見は所謂花見であつて、眞の花を見るのではない。花の咲いたをよい機會に呑んで騷ぐといふ丈けのことなのであつて何の意義もない。唯だ變て悲劇發生の原因を創る效果丈けをあらしむるのみのことである。

■花を觀るなら眞直ぐに行つて花を見て歸へつて來ればよい筈だ。それを物を食ふとか呑むとかせれば氣が濟まぬとは洵に以て厄介千萬な話だ。中には唯だ塵埃にまみれて亂痴氣騷ぎをした丈けて、全然花など見ずに歸へつて來るといふ樣な奇妙な花見をして喜んで居る人間もあるといふに到つては呆れるより外はない。幾ら何處に何んな綺麗な花が開かうと、見度くも見られないで、花見踊りの醉どれのヴアン・パイアに苛められなければならないといふ可憐な人間もある。木の芽の出る時期は人の氣も浮き立つ、病氣も徐ろ〳〵擡頭して來る。不自然な騷ぎや悲劇も此の季節に尤も多く惹起るのである。心すべきではあるまいか。

■今や不景氣風は隨所に荒んで、社會の各方面を風靡仕樣として居る。その速度は秒三十呎といふのでもあるまいが、兎に角濃密な低氣壓は我々人間の生活を脅威して居ることは事實だ。到底お花見騷どころではない筈だ。假令氣溫は暖かであつても、各人の懷ろは春ではなからう。また收獲時の秋でもなく、秋であるとしたら全く意味の違つた秋であるが、先づ炎き切るやうな暑か、刺すやうな極寒といふのが近かいやうであらうと思ふ。

それでも空ら景氣の附け元氣で騷ぐ連中も尠なくはあるまい。常識を以て判斷することは能きないのであるが、斯ういふ現象も畢竟社會の縮圖と見ることも能きるだらう。

■之れが即ち都會生活者の心理の如實な描寫とても言ふべきであるかも知れない。恒に私共は聽くことであるが、綺羅を飾つて何處の令孃かと見違えるやうな姿の人が、百軒長屋の生活者であつたといふ樣なことを私はこれに對しては二樣の觀察をするのである。即ち一面から觀れば淡い虛榮の爲めに綺羅を飾つて、物持ちの眞似をして喜んで居るのであらうが、他の方から觀るなら都會生活者として當然採るべき自衞策なのである。斯う家が櫛比して人口稠密して居る都會では、何時火災の厄に會はぬとも限らない。大東京だ帝都だと言つても眞晝中に泥棒は橫行濶步して居るのだから此れ等の予防策としては、各人が恒に全財產を身に着けて步くに限るのだ。結まり自巳の財產擁護上必然な手段を構じて居るのである。況て無產者の住宅は以上の二つの災厄を防ぐには餘まりに不完全であるのだから長屋の娘が綺麗にして步いたからとて不思議はない譯である。それもその筈だ田舍者こそ全然着ない着物を簞笥に堆高く仕舞ひ込んで居るが、都會生活者で常着と他行着とを別々に持つて居る人は、有產者は別として先づ餘計はないやうだ。

■尤もこれにも二つの理由はある。生活に餘裕のないのもその一つだが、都會生活は現金生活で何から何まで現金づくめだから、從つて何時の間にか經濟的に田舍者よりは眼覺めて來た、即ち凡てが算盤づくであるから、不生產的に金錢を浪費することを警戒して、不用な着物などは作らないのだらう。けれど案外巧者なやうなものゝ根がセンチメンタルに出來上つて居るのだから都會には馬鹿が多い。亂痴氣騷ぎを一つの誇りの樣に心得えてる全く見當違ひの經濟眼を持つて居るのだから始末に了へない。それでも人に迷惑を掛けないのなら未だよいが、他人の迷惑などは天下御免で彼等の眼中に全然ないのだから困まつたものだ。社會の隨所に向つて改造は行はれなければならぬのだが、先づ此の方面の改造も閑却してはならないものである。

■三月號は非常に遲れて仕舞つて誠に讀者諸子に對して申譯のない次第でした。實は一月中に降雪の爲め印刷工場に支障を來して以來、頓と工場の能率の上らなかつた爲め延いては遲刊といふやうな斯ういふ結果に逢着して諸子の御期待に辜負したのであるが、その內には必ずこの遲刊を取り返へして、乾度諸子の御期待に酬ゆる考えて精勵致して居りますから、何卒其の間の御辛抱と御宥恕をお願いたします。(清美)

大正十年四月十日印刷　（毎月一回十日發行）
大正十年四月十日發行　（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　本鄉區眞砂町三十六番地　小笠原楳芳
印刷所　本鄉區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Koza-gori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

東洋内科醫院

副長（新任） 醫學士 岡本鑑雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間両副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段 一六六二番 一六六三番

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番

相模國茅ケ崎海濱（従停車場半里）

河野、高橋両副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雑事婦

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）
（大正十年四月十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋
警醒社、北隆館、瓦明堂

定價一册金二十錢